

# 平塚駅周辺地区の将来構想に関する 市民アンケート結果報告書

平塚市



## はじめに

この冊子は、令和4年8月～9月に実施した「平塚駅周辺地区の将来構想に関する市民アンケート」の結果を取りまとめたものです。

「平塚駅周辺地区の将来構想に関する市民アンケート」は、平塚駅周辺地区の概ね20年後の将来のあるべき姿を共有し、持続可能なまちづくりを実現するために策定する「平塚駅周辺地区将来構想」に市民の皆様の日常生活の実態や意向を反映させる目的で、平塚駅周辺地区に対する現在の評価やイメージ、将来どのような場所になったら良いと思うか等を調査しました。

この結果を、令和6年度に策定する平塚駅周辺地区将来構想の基礎資料として活用していきたいと考えています。また、市民の皆様をはじめ、各方面の皆様に御活用いただければ幸いです。

最後に、この調査に御協力をいただいた市民の皆様に御礼を申し上げます。

令和4年12月

平塚市長 落合 克宏



# もくじ

第1章 調査の概要 .....	1
1. 目的 .....	1
2. 調査方法 .....	1
3. 標本数及び回収結果 .....	2
4. 調査項目 .....	3
5. 結果利用上の注意 .....	3
第2章 結果の概要 .....	4
問1. アンケートに回答される「ご自身」のことについて.....	4
問2. 日常的な外出について .....	9
問3. 実際に店舗で買い物する際のことについて.....	16
問4. 平塚駅から電車を使う際の利用状況について.....	17
問5. 駅周辺地区への来訪について .....	20
問6. 駅周辺地区の評価・イメージについて .....	25
問7. 駅周辺地区のまちづくり活動について .....	32
問8. 駅周辺地区の将来について .....	35
問9. 駅周辺地区の道路・公園などについて .....	41
問10. コミュニティビジネスについて .....	50
問11. 自由意見.....	52
第3章 結果の考察 .....	58
資料編 .....	59

# 第1章 調査の概要

## 1. 目的

平塚駅周辺地区の将来構想を検討するにあたり、市民の日常生活の実態や意向を反映させる必要があることから、市民アンケートを実施しました。

## 2. 調査方法

調査対象：令和4年7月1日現在で満18歳以上の平塚市民

対象者数：約3,000人

抽出方法：市内7地域の人口を基に按分し、住民基本台帳から無作為抽出  
(「表1 地域別の必要配布数」のとおり)



調査方法：郵送により対象に調査票を配付

返信用封筒による郵送回収又はインターネット回答 (e-kanagawa 電子申請システムを使用)

調査期間：令和4年8月22日(月)～9月5日(月)

### 3. 標本数及び回収結果

配布枚数：3,013 件

回収枚数：848 件（郵送回収：710 件、インターネット回答：138 件）

回収率：28.1%

【表1 地域別の配布数】

地域	総人口	人口按分	不足分	配布数	回収数	地域別回収率
南部地域	39,689	462		462	139	30.1%
中心地域	40,591	473		473	143	30.2%
東部地域	58,138	677		677	186	27.5%
中部地域	27,884	325		325	70	24.6%
北部地域	23,317	272	13※1	285	85	26.2%
西部地域	27,507	320		320	126	26.8%
旭地域	40,377	470		470	77	24.1%
合計	257,503	3,000		3,013	848※2	

※1：地域ごとの回答数に偏りが出ないように配布数を増やしています

※2：該当地域不明・無回答（22）を含む合計数

## 4. 調査項目

問1. アンケートに回答される「ご自身」のことについて
問2. 日常的な外出について
問3. 実際に店舗で買い物する際のことについて
問4. 平塚駅から電車を使う際の利用状況について
問5. 駅周辺地区への来訪について
問6. 駅周辺地区の評価・イメージについて
問7. 駅周辺地区のまちづくり活動について
問8. 駅周辺地区の将来について
問9. 駅周辺の道路・公園などについて
問10. コミュニティビジネスについて
問11. 自由意見

## 5. 結果利用上の注意

次のとおり集計を行いました。

- ・ 図表中の「n」は、各設問の回答者数を示します。
- ・ 結果は百分率（％）で表示し、小数第2位を四捨五入して算出しました。従って、端数処理の関係上、個々の選択肢の百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・ 回答の比率（％）は、その質問の回答者数を基数（n）として算出しました。従って、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると100%を超えることがあります。
- ・ 本文や図表中の選択肢等の表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。

### 【単純集計について】

- ・ 複数回答については、回答数に関係なく全て集計しています。
- ・ 1つ回答する質問に対し、複数回答がある場合と無回答は、無効票として集計しています。

### 【クロス集計について】

- ・ 世代別集計において、18歳、19歳については、回答数が1桁のため、20～30歳代に含めて集計しています。
- ・ 地域別集計において、御殿4丁目は中部地域ですが、その他の御殿、御殿1丁目～3丁目、5丁目は東部地域のため、東部地域に含めて集計しています。

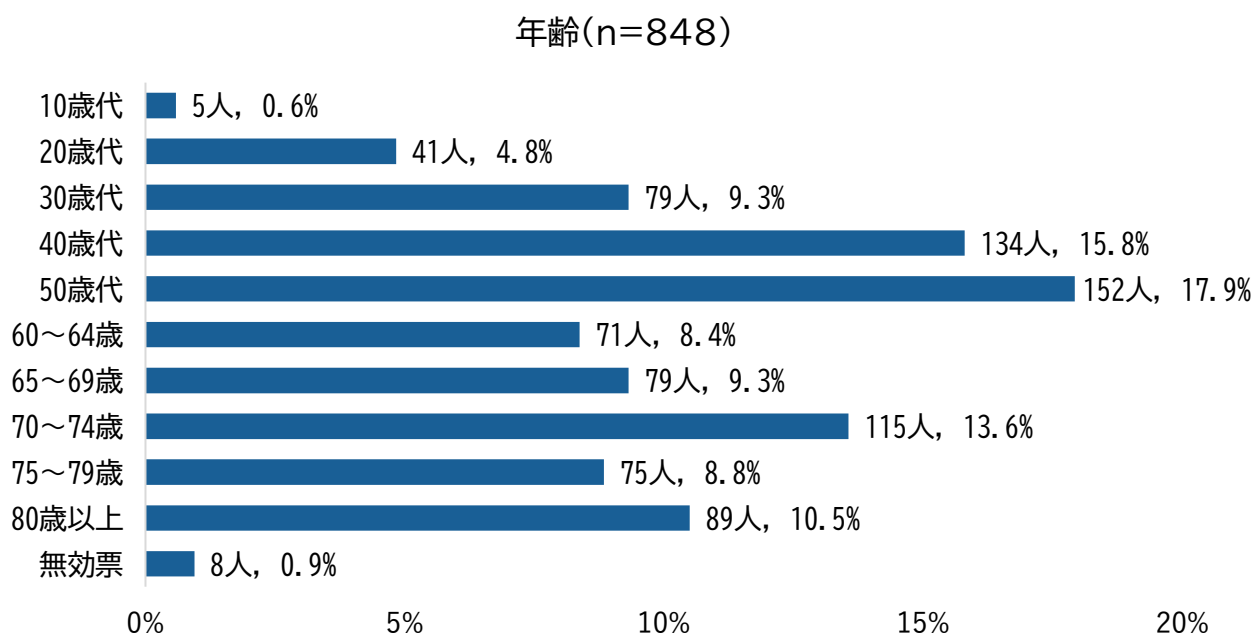


## 第2章 結果の概要

### 問1. アンケートに回答される「ご自身」のことについて

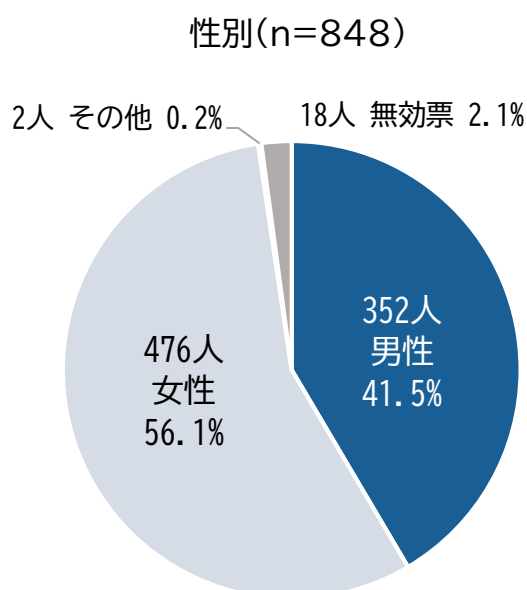
#### ① 年齢

・「70歳代（70～74歳、75～79歳の合計）」（22.4%）、50歳代（17.9%）の回答が多くなりました。また、65歳以上の回答割合が全体の約4割を占めています。



#### ② 性別

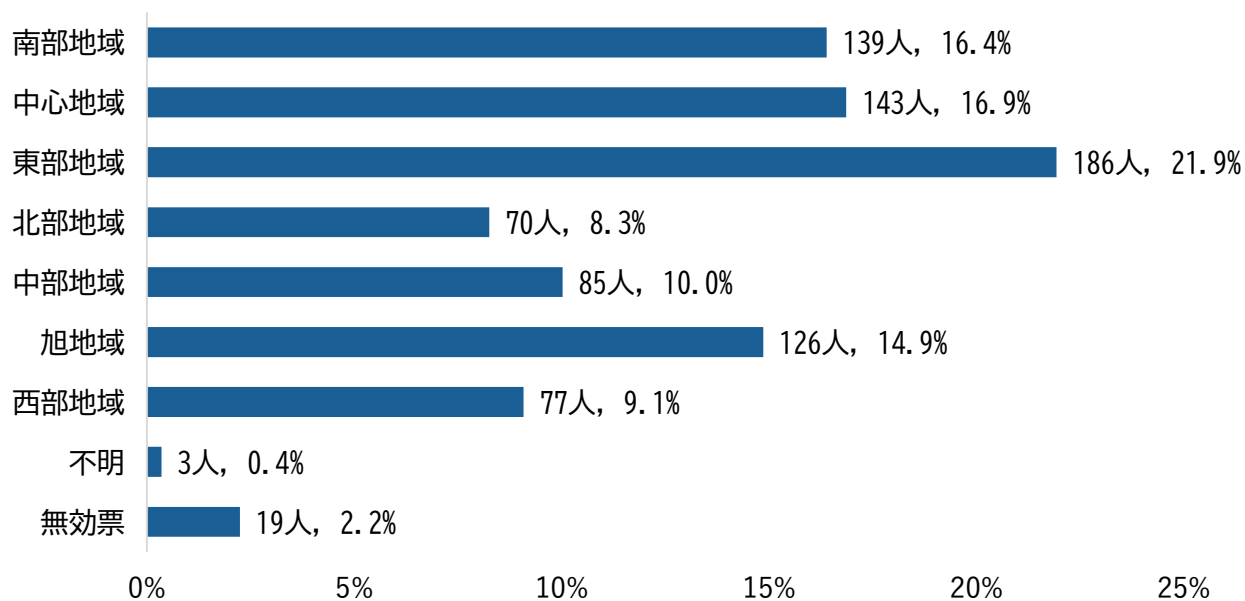
・「男性」（41.5%）、「女性」（56.1%）と、女性の回答が多くなりました。



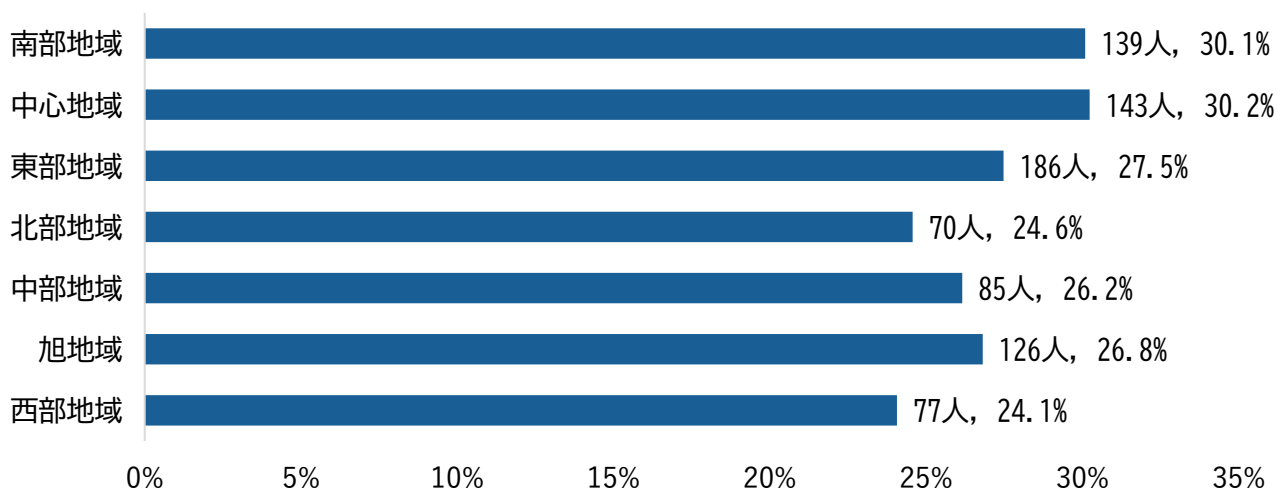
### ③ 住所

・回答に占める割合は「東部地域」(21.9%)が最も多く、回収率は「南部地域」(30.1%)、「中心地域」(30.2%)が高くなっています。

地域別住所(n=848)

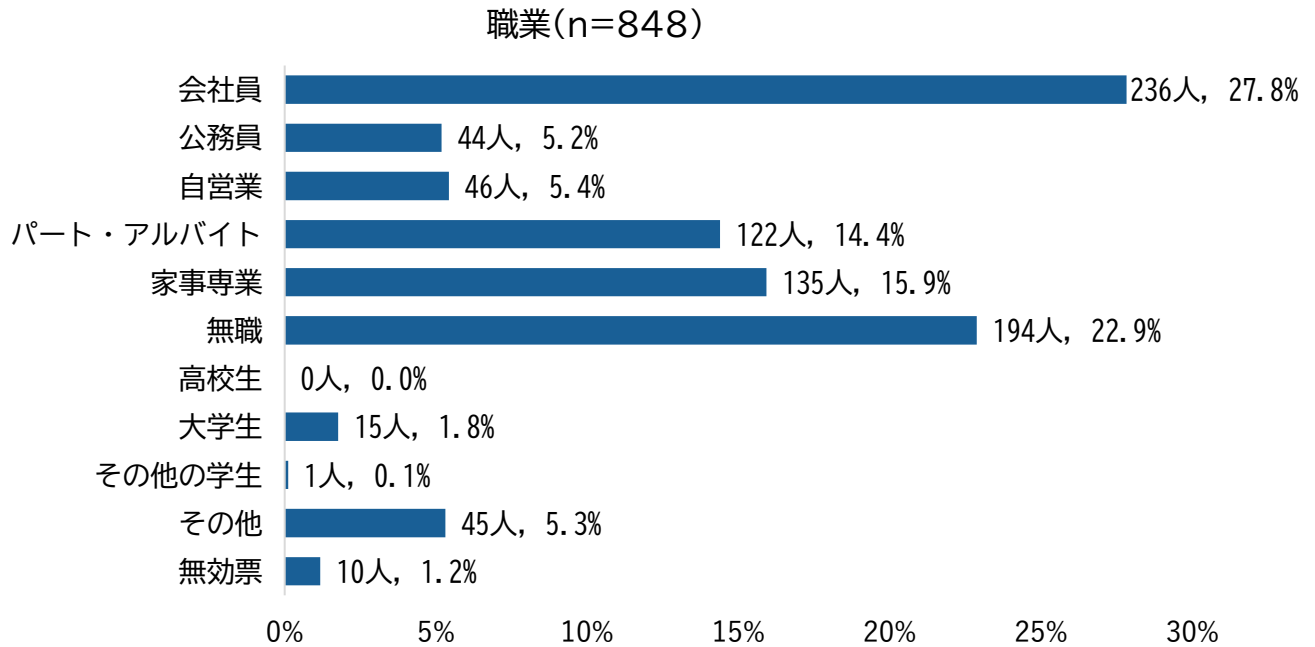


地域別回収率(n=848)



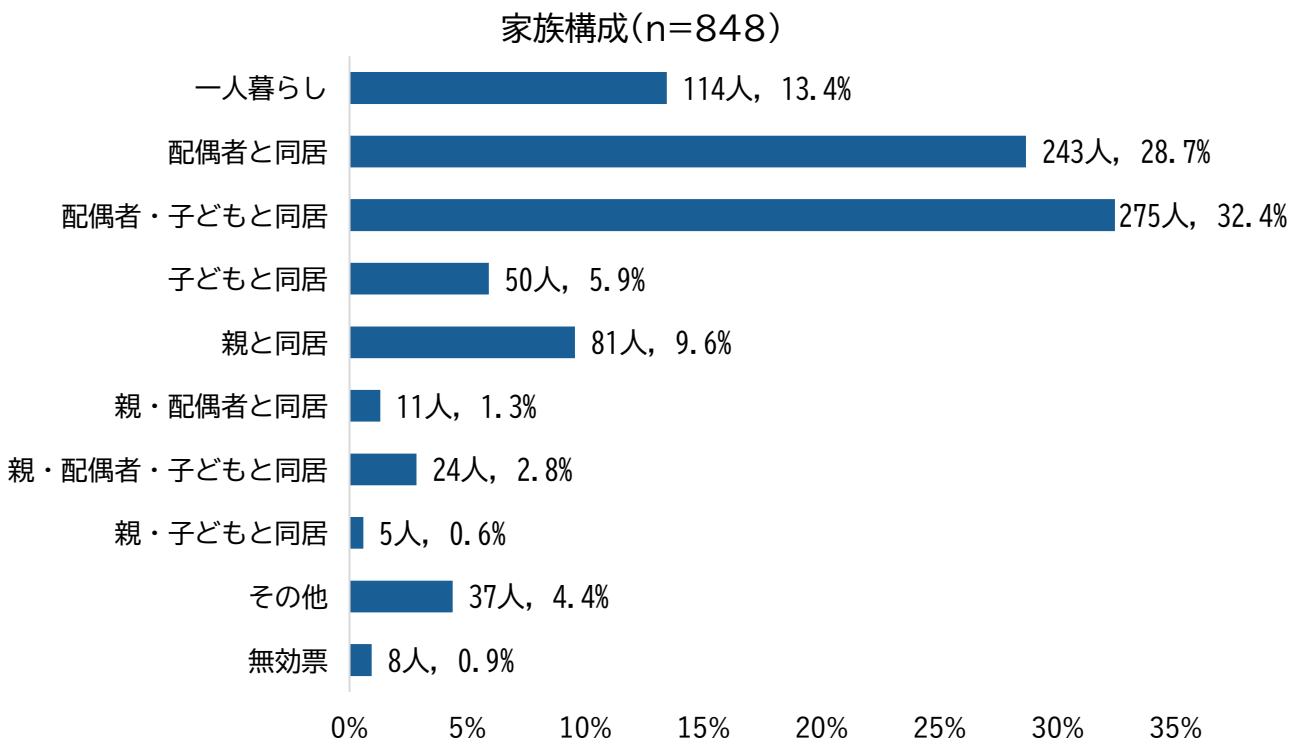
#### ④ 職業

・「会社員」(27.8%)が最も多く、次いで「無職」(22.9%)が多くなっています。



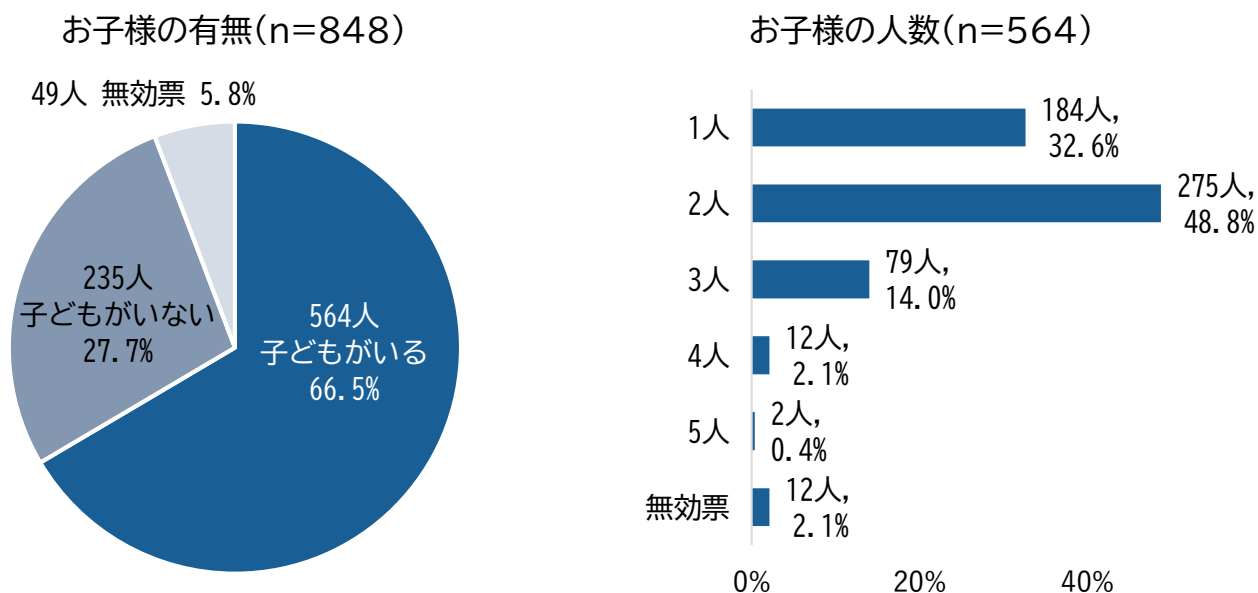
#### ⑤ 家族構成

・「配偶者・子どもと同居」(32.4%)が最も多く、次いで「配偶者と同居」(28.7%)が多くなっています。



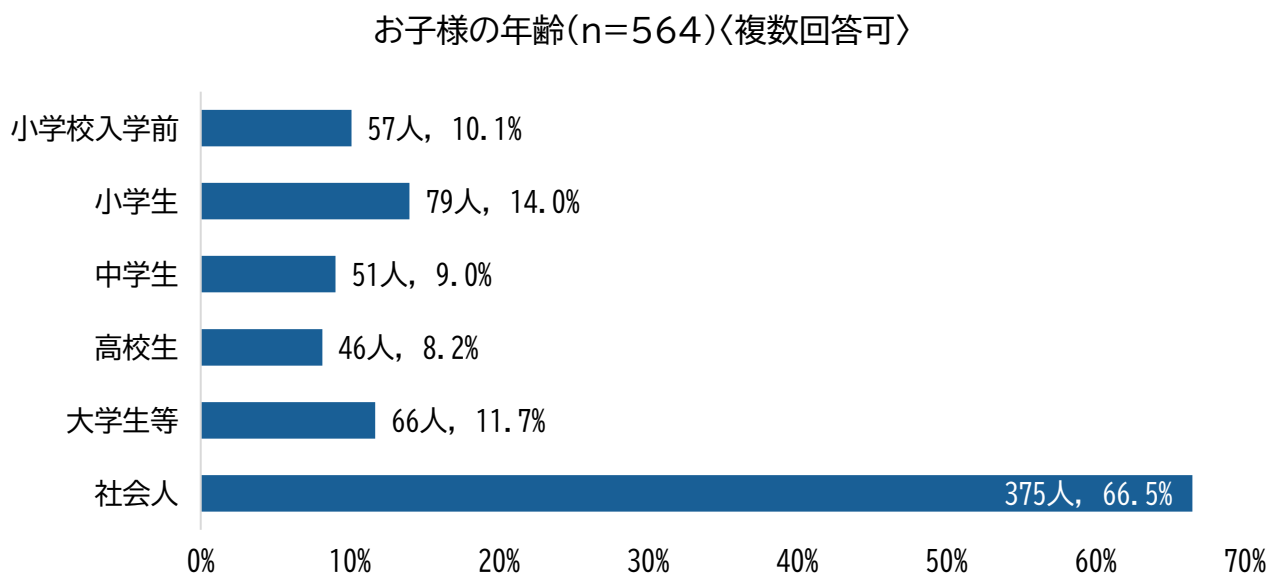
### ⑥-1 お子様の有無と人数

・「子どもがいる」(66.5%)が7割弱を占め、人数は「2人」(48.8%)が最も多くなっています。



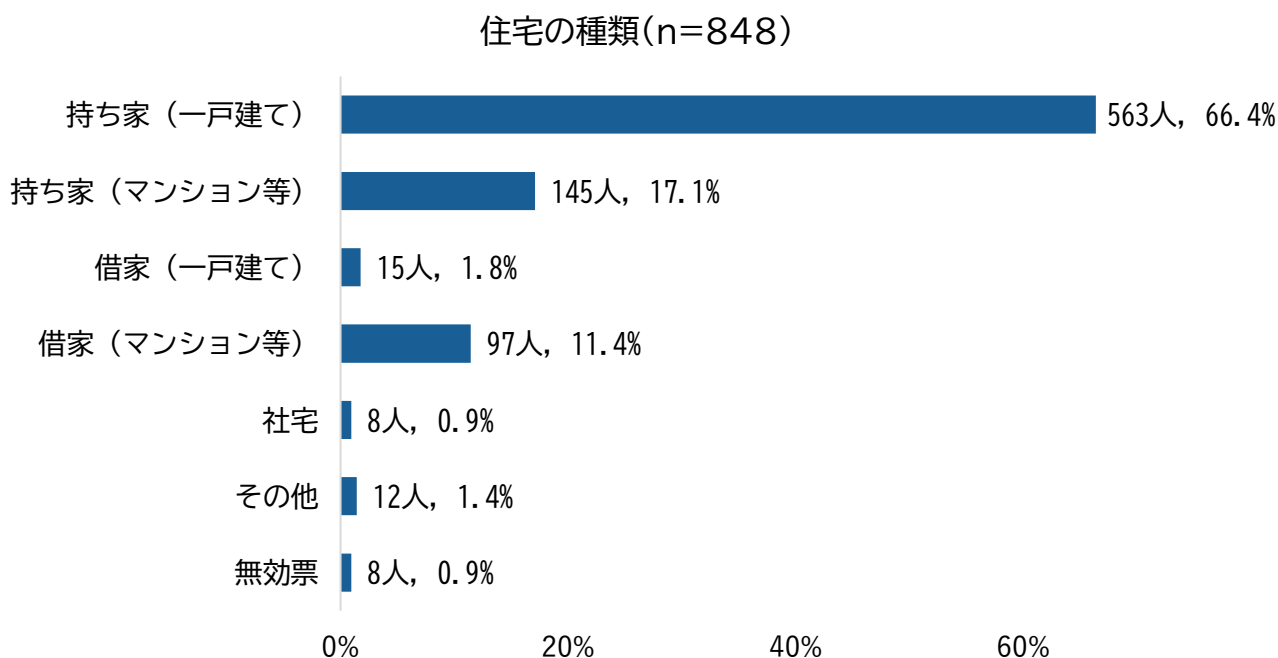
### ⑥-2 お子様の年齢 (複数回答可)

・「社会人」(66.5%)が最も多くなっています。



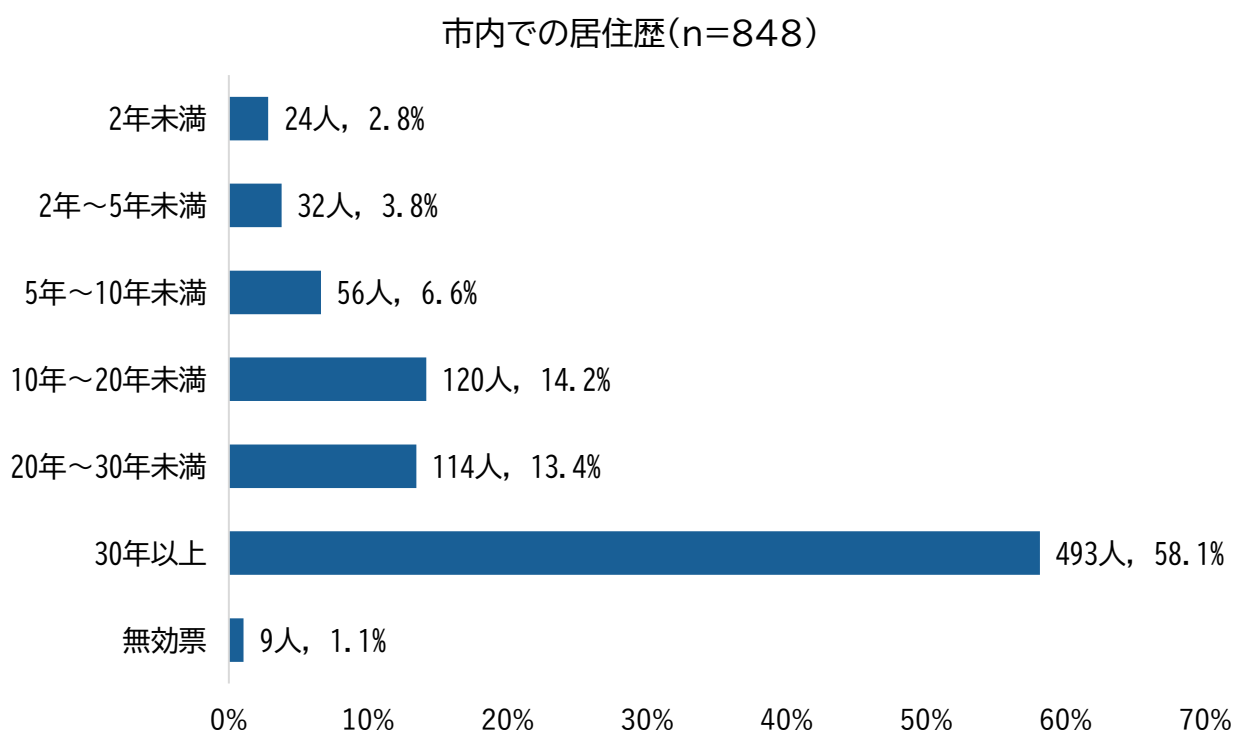
### ⑦ 住宅の種類

・「持ち家（一戸建て）」（66.4%）が最も多くなっています。



### ⑧ 市内での居住歴

・「30年以上」（58.1%）と回答した方が最も多く、約6割を占めています。

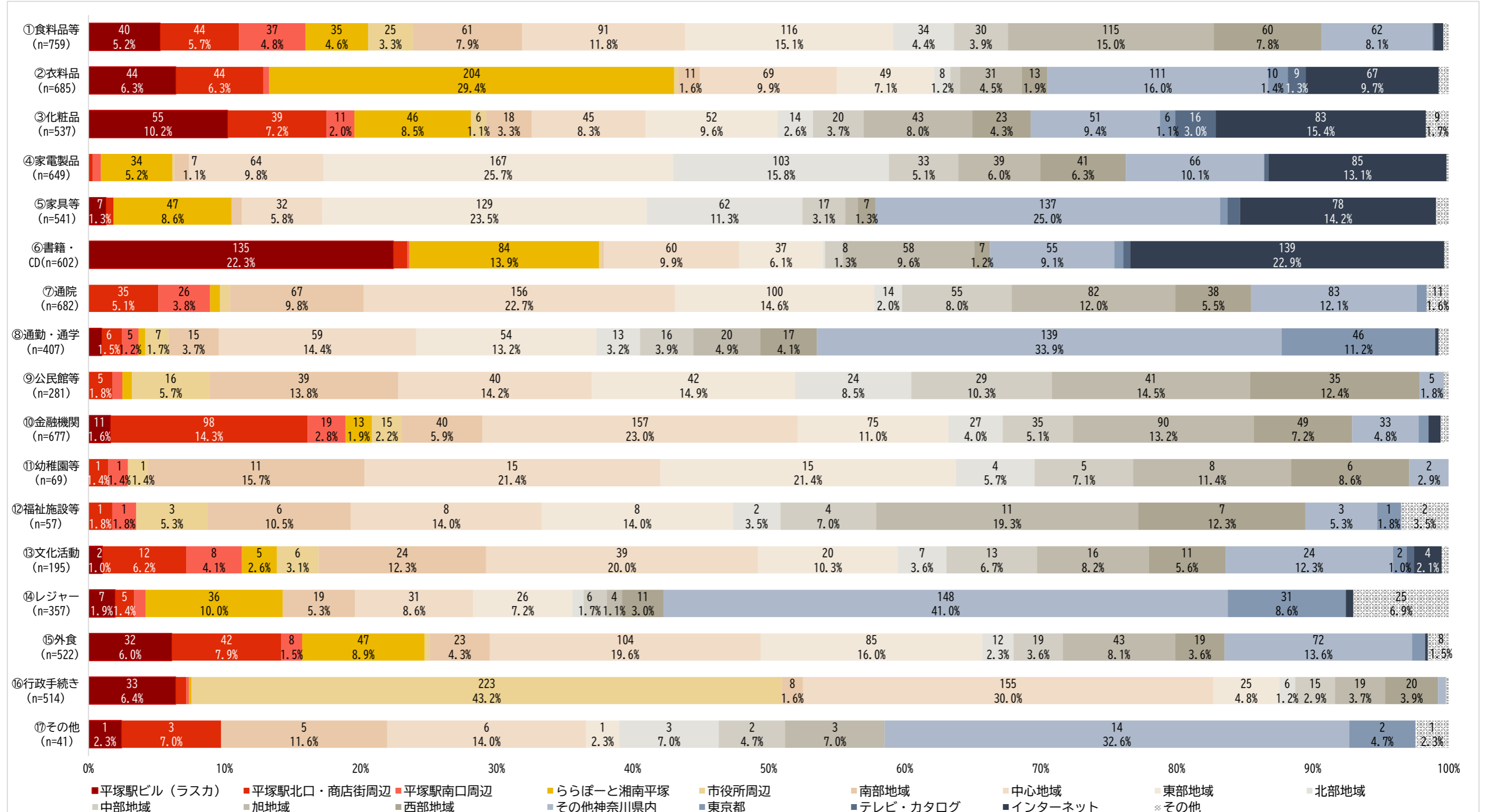


## 問2. 日常的な外出について

以下の行動①～⑰の中で行うものについて、それぞれ最もよく行く「ア. 行き先」とそれに係る「イ. 交通手段」、「ウ. 移動時間」、「エ. 利用頻度」について、選択肢からそれぞれ1つ選んで該当する番号を書いてください。行うことのない行動については回答不要です。

### ア 行き先

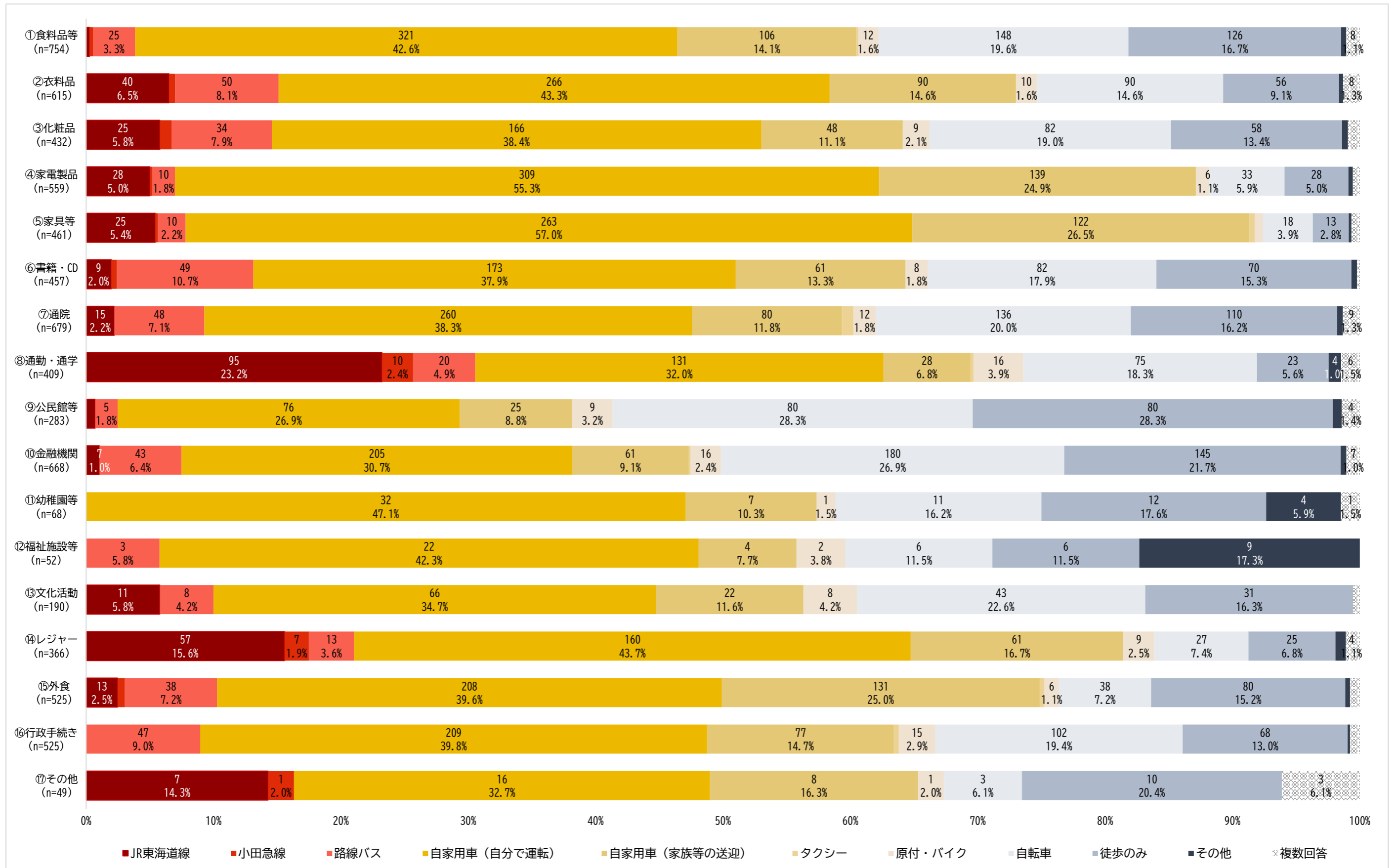
・行動別に見ると、駅周辺地区では、「書籍・CD」の買い物で「平塚駅ビル（ラスカ）」、「金融機関」の利用で「平塚駅北口・商店街周辺」を選んだ方が多くなっています。



※1%未満は非表示にしています。

## イ 交通手段

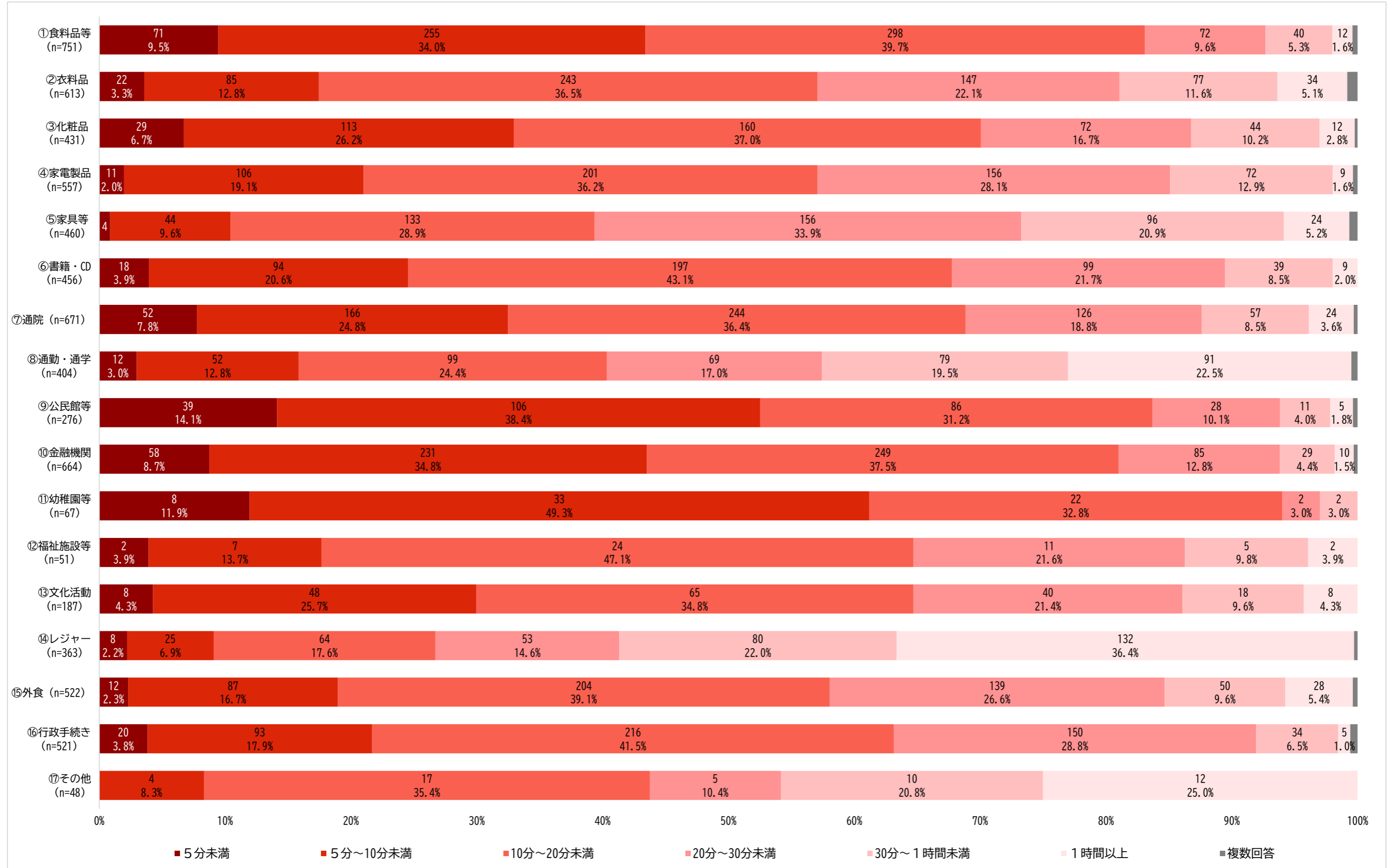
・ほとんどの行動で「自家用車（自分で運転）」を選んだ方が最も多くなっていますが、公民館等のみ「自転車」（28.3%）、「徒歩のみ」（28.3%）が最も多くなっています。



※1%未満は非表示にしています。

## ウ 移動時間

・「食料品等」、「公民館等」、「幼稚園等」は短く、「家具等」、「通勤・通学」、「レジャー」は長くなっています。

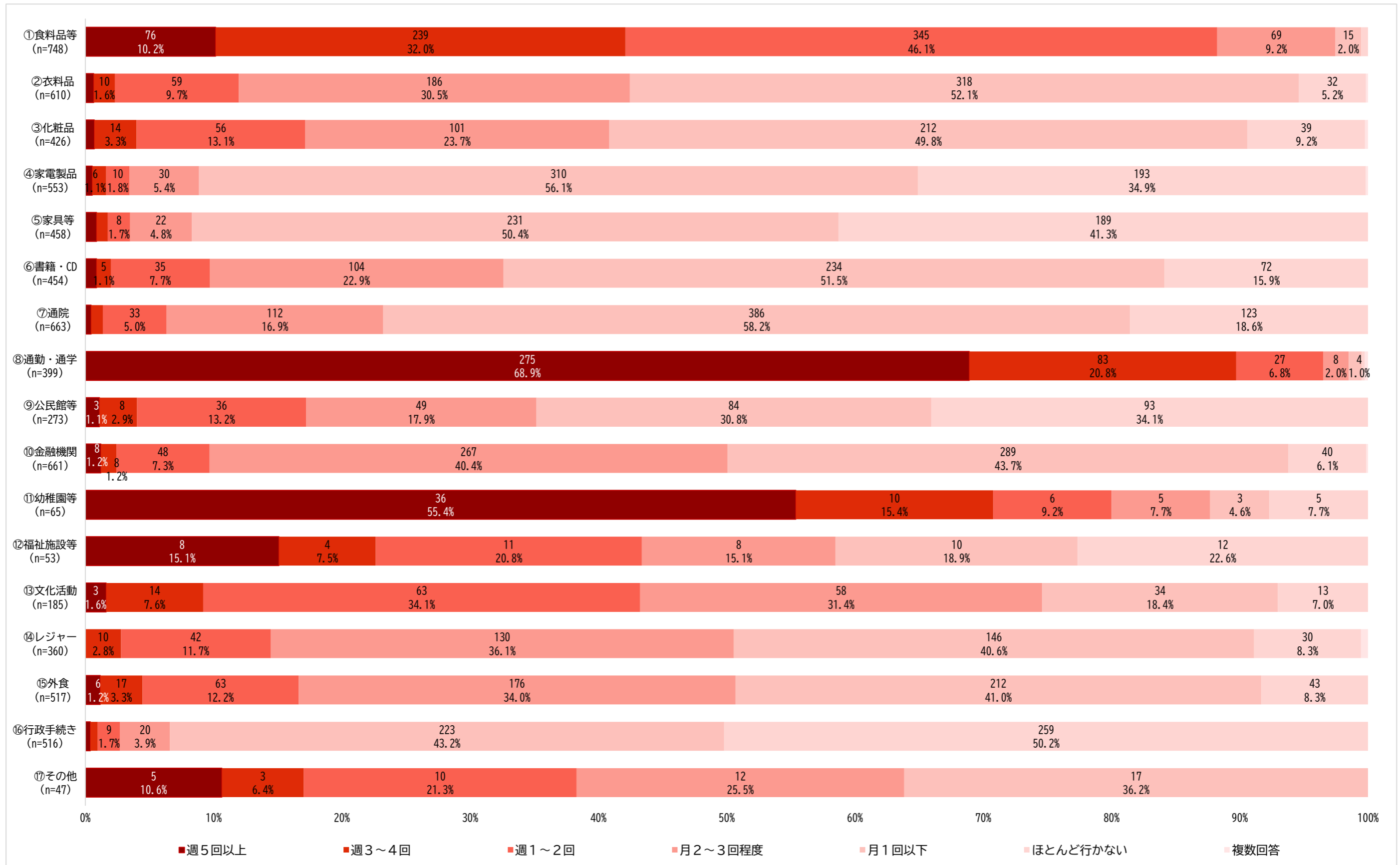


※1%未満は非表示にしています。



## エ 利用頻度

・「通勤・通学」(68.8%)、「幼稚園等」(55.4%)の利用頻度が多くなっています。



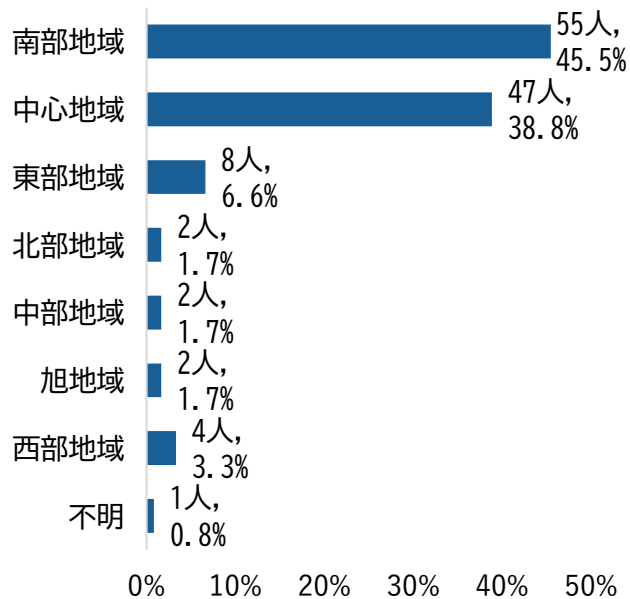
※1%未満は非表示にしています。

## ■クロス集計1 日常的な外出での駅周辺地区の利用実態

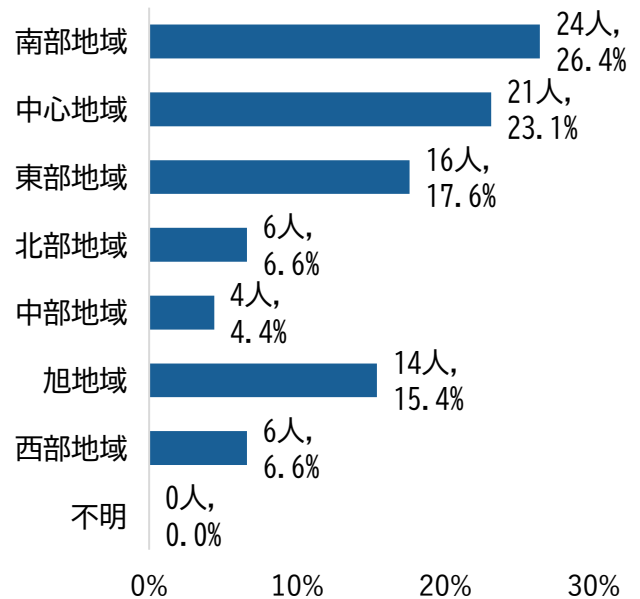
日常生活で、駅周辺地区（平塚駅ビル、平塚駅北口・商店街周辺、平塚駅南口周辺）を利用している方が50人以上いる行動について、どの地域にお住まいの方が多くを占めるか、集計を行いました。

平塚駅周辺地区の商圈は中心地域、南部地域が中心ですが、衣料品と外食については、東部地域、旭地域まで商圈が広がっていることがわかります。

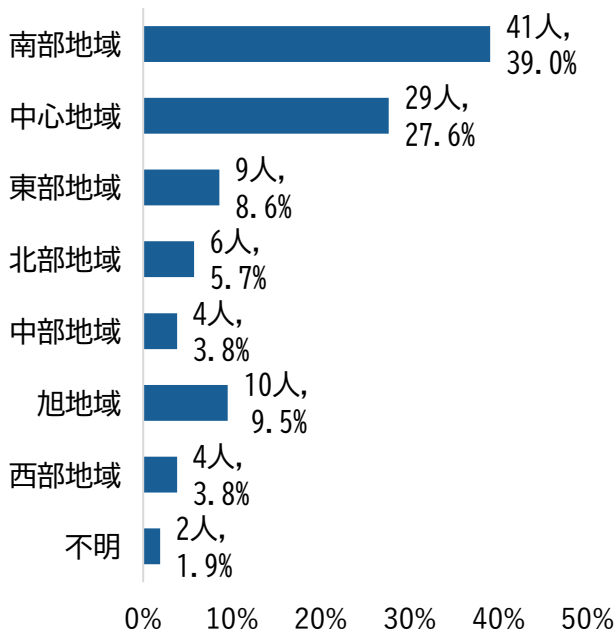
①食料品等(n=121)



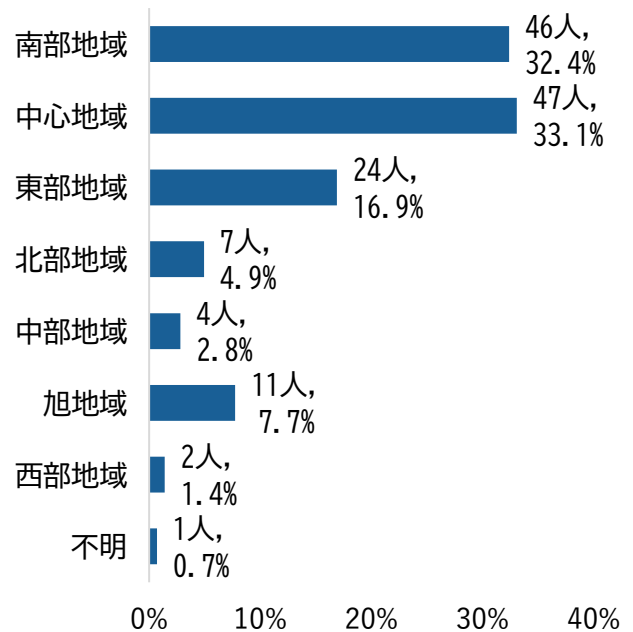
②衣料品(n=91)



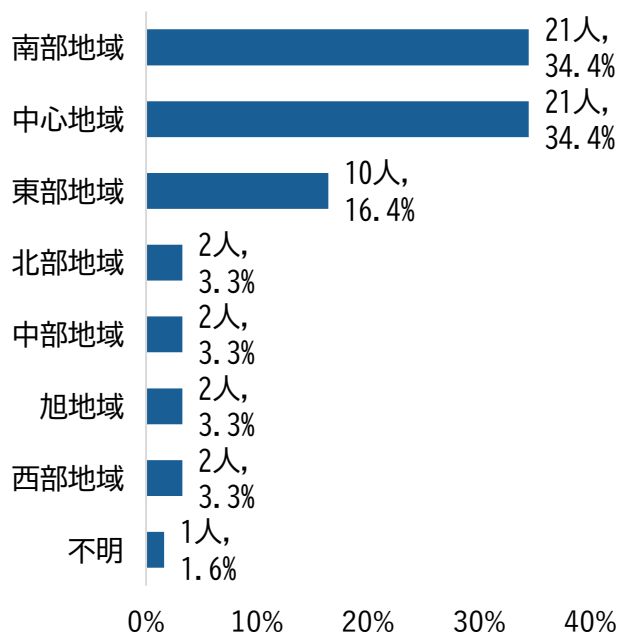
③化粧品(n=105)



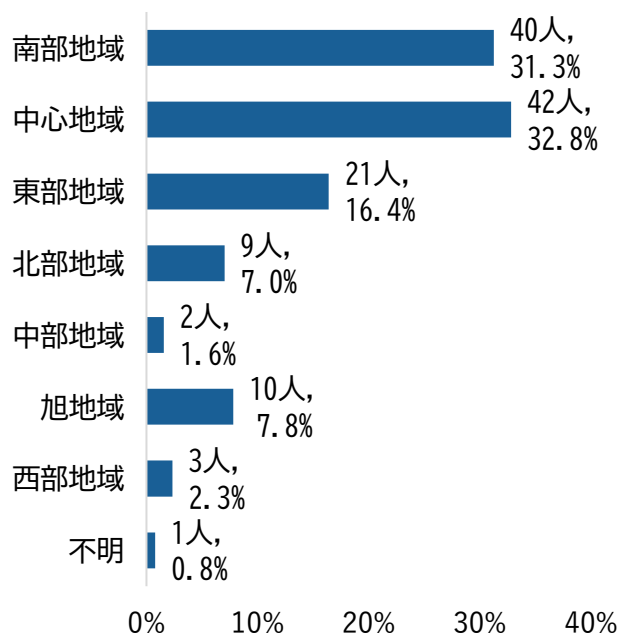
④書籍・CD(n=142)



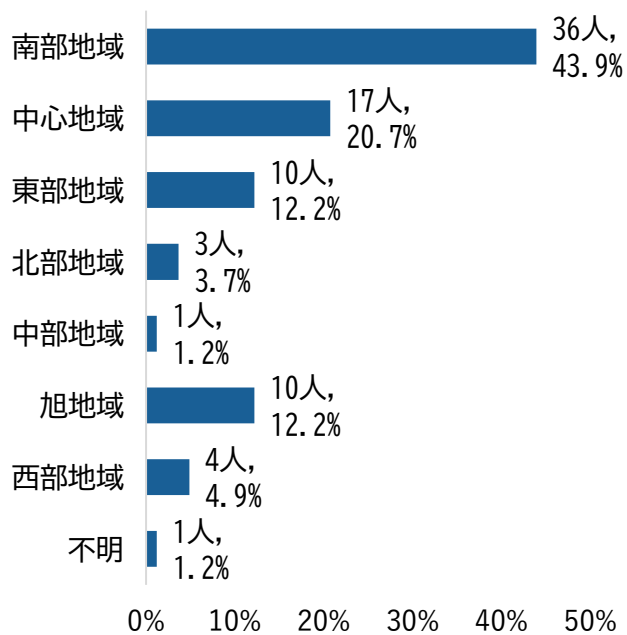
⑤通院(n=61)



⑥郵便局、銀行等金融機関(n=128)

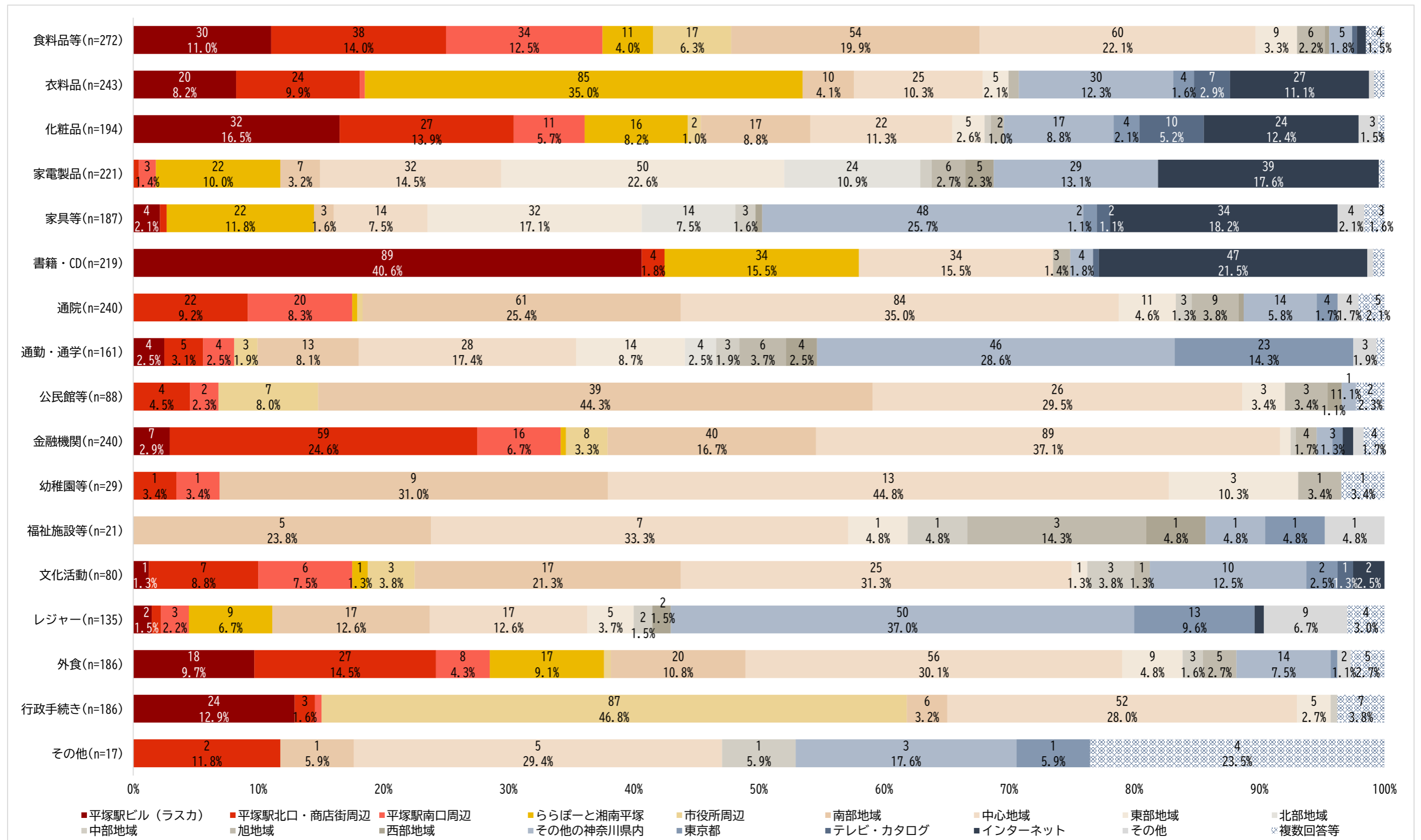


⑦外食(n=82)



## ■クロス集計2 駅周辺地区に在住している方の日常的な外出

駅周辺地区（南部地域、中心地域計 282 人）の方が、日常的な外出においてどの地域に出かけているかについて集計を行いました。「食料品等」、「化粧品」、「書籍・CD」、「金融機関」を目的に駅周辺地区を利用している方が30%以上いることがわかります。



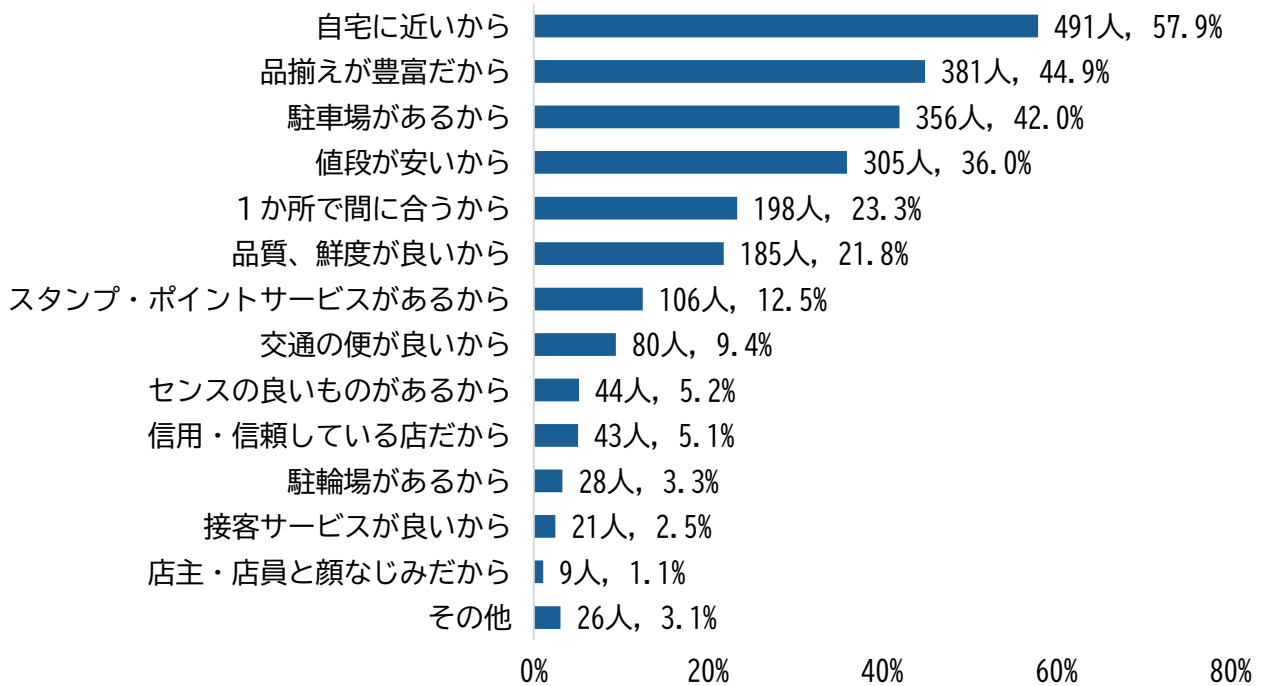
※1%未満は非表示にしています。

### 問3. 実際に店舗で買い物する際のことについて

#### ① 買い物先を選ぶ理由（複数回答）

・「自宅に近いから」（57.9%）が最も多く、次いで「品揃えが豊富だから」（44.9%）、「駐車場があるから」（42.0%）となっています。

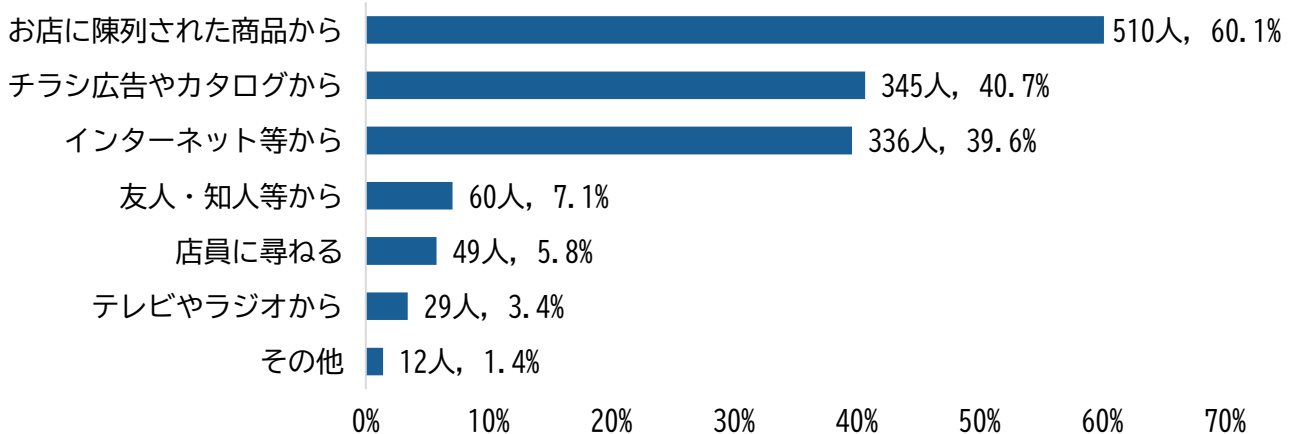
買い物先を選ぶ理由(n=848)〈複数回答可〉



#### ② 購入したい商品の情報入手方法（複数回答）

・「お店に陳列された商品から」（60.1%）が最も多く、次いで「チラシ広告やカタログから」（40.7%）、「インターネット等から」（39.6%）となっています。

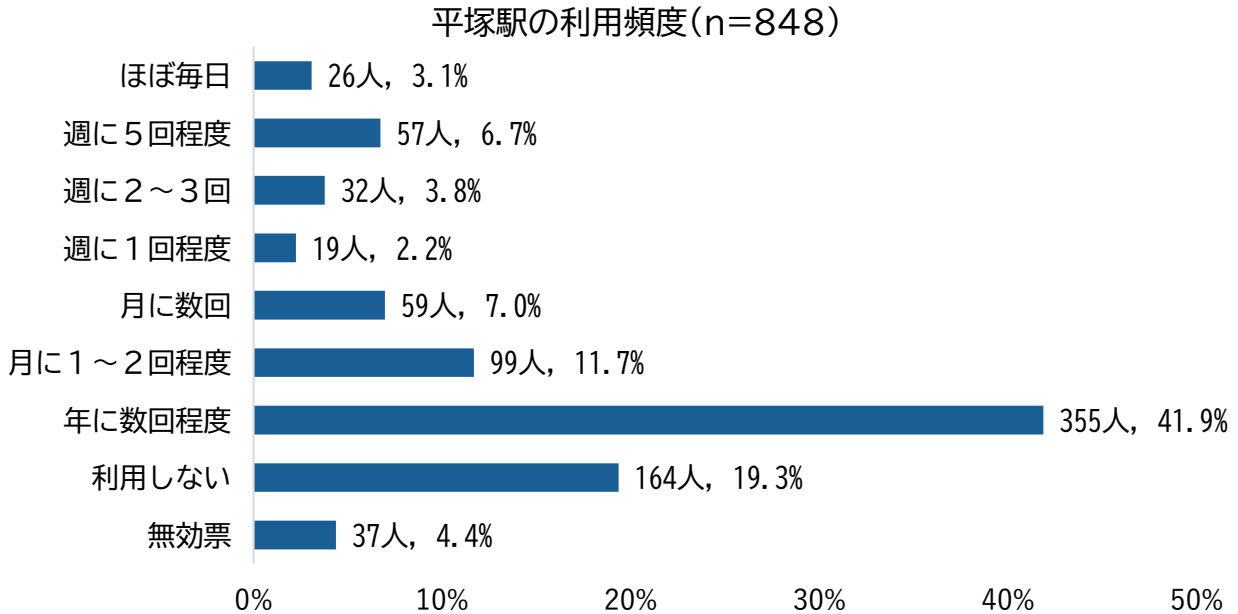
購入したい商品の情報入手方法(n=848)〈複数回答可〉



## 問4. 平塚駅から電車を使う際の利用状況について

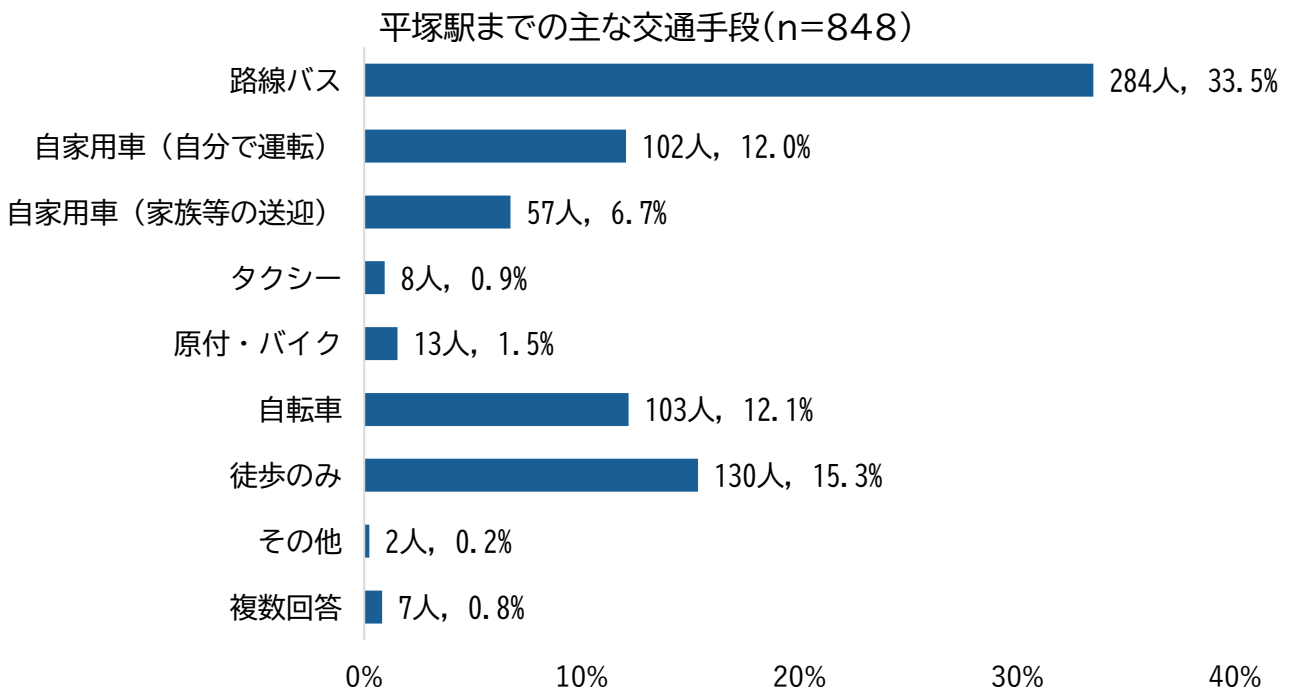
### ① 平塚駅の利用頻度

・「年に数回程度」(41.9%)が最も多くなっています。



### ② 平塚駅までの交通手段

・「路線バス」(33.5%)が最も多くなっています。

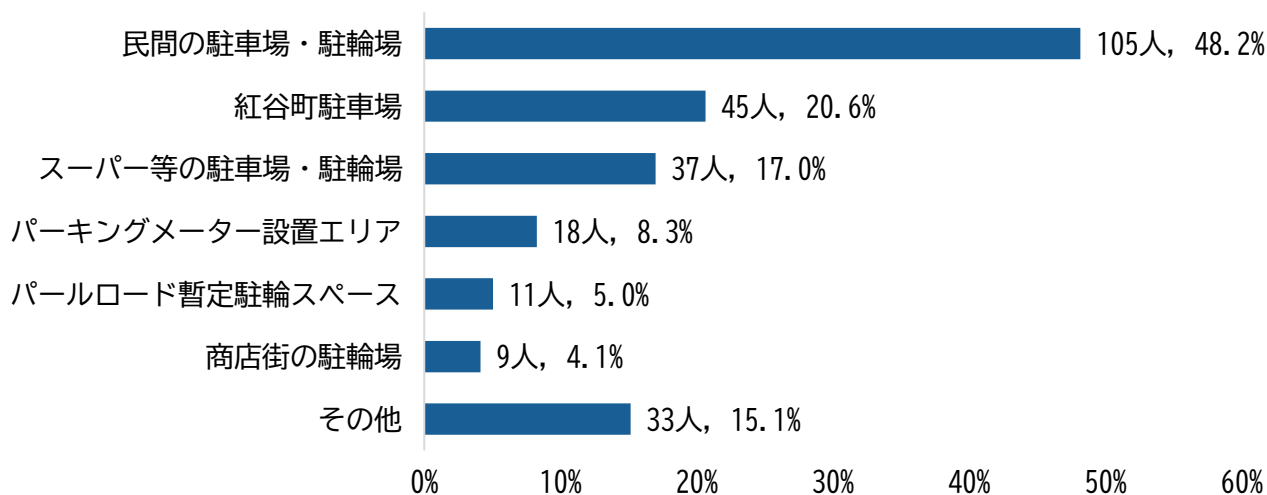


### ③ 駐車・駐輪場所（複数回答）

・②「交通手段」において「自家用車（自分で運転）」、「原付・バイク」、「自転車」と回答した方を対象としています。

「民間の駐車場・駐輪場」（48.2%）で約半数となっています。

駐車・駐輪場所(n=218)〈複数回答可〉



#### ④ 駐車・駐輪場所に関する問題点・要望等（自由回答）

主な自由回答の内容は次のとおりです。

- ・自転車、バイクの駐輪場、駐車場が不足している
- ・駐車、駐輪料金が高い
- ・情報発信（位置、空き情報）が不足している
- ・雨の日に濡れない駐輪、駐車場が欲しい
- ・駅前広場のバス、タクシー、一般車の交差が危険
- ・駅前広場の送迎場所からホームへのアクセスが悪い
- ・北口ロータリーが利用しづらい
- ・南口の駐車、駐輪場が不足している
- ・キャッシュレス化の推進が必要

#### ⑤ バス利用に関する問題点・要望等（自由回答）

主な自由回答の内容は次のとおりです。

- ・情報発信（バスルート、乗り場の情報）が不足している。
- ・定時制、速達性の向上が必要
- ・運行時間、本数を増やしてほしい
- ・駅とバス停が遠いため、近くしてほしい
- ・南口駅前広場を改修してほしい
- ・乗り場の環境整備（雨天時の利用、駅との至近性、バリアフリー対応）をしてほしい
- ・駅との連続性を持ってほしい
- ・駅北側と南側をつなぐバスルートが欲しい
- ・コミュニティバスが欲しい

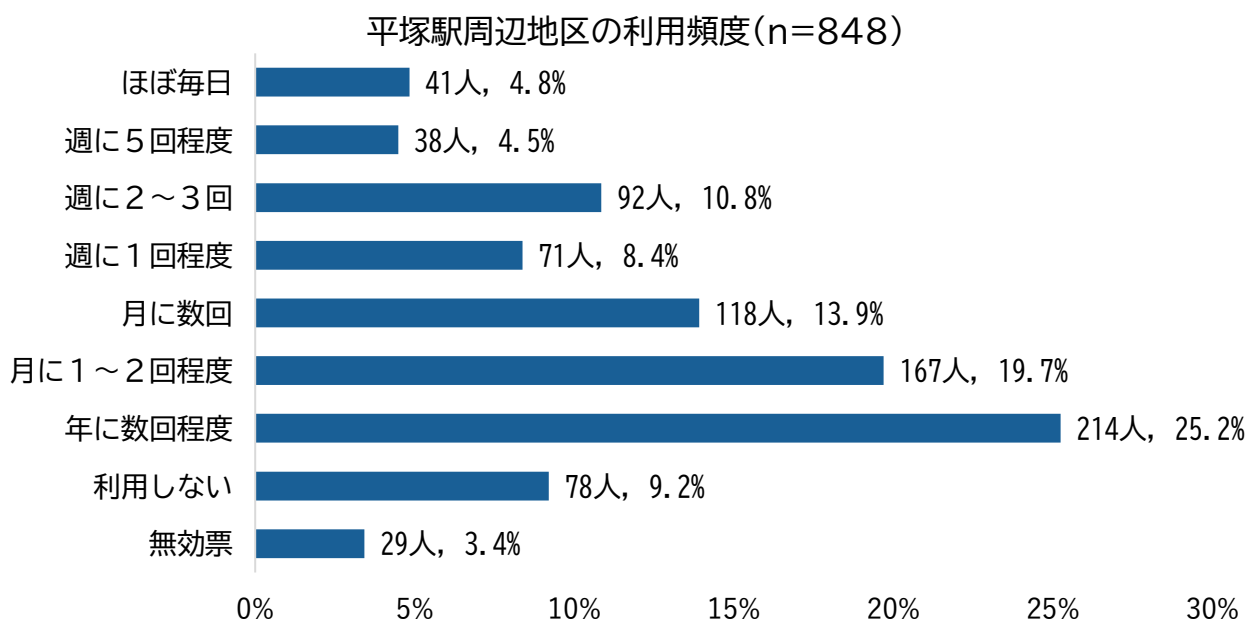


## 問5. 駅周辺地区への来訪について

平塚駅から電車を使うこと以外での「駅周辺地区」への来訪についてお答えください。

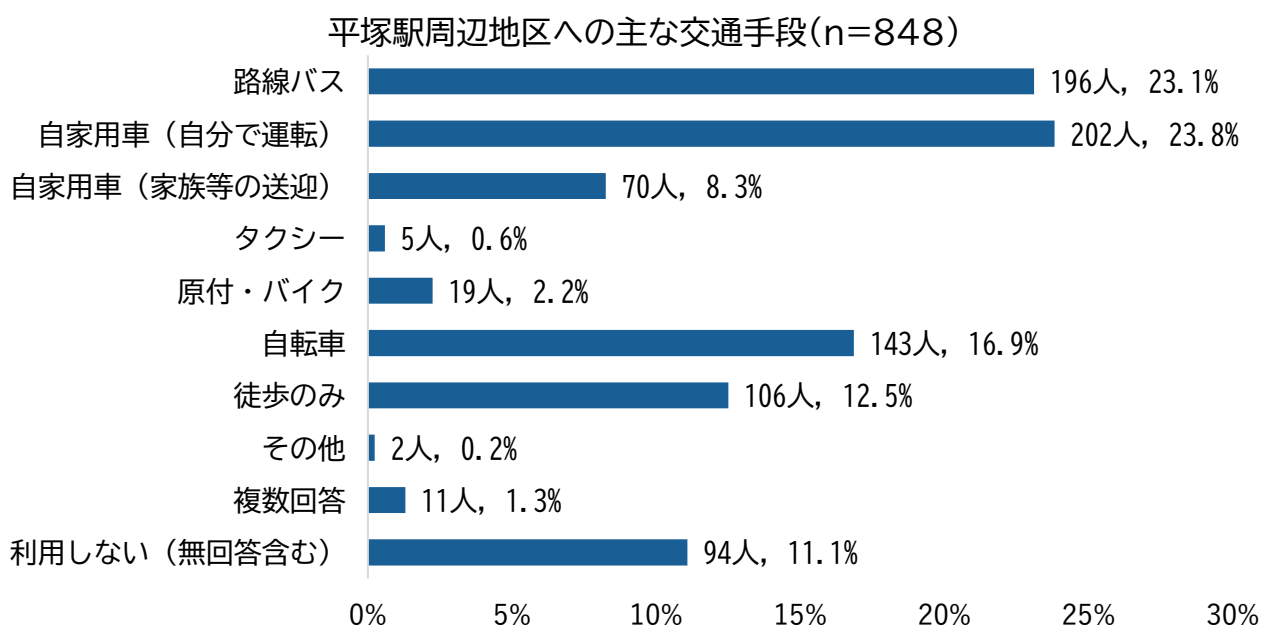
### ① 利用頻度

・「年に数回程度」(25.2%)、「月に1～2回程度」(19.7%)の順に多くなっています。



### ② 交通手段

・「自家用車（自分で運転）」(23.8%)が最も多く、僅差で「路線バス」(23.1%)が続きます。

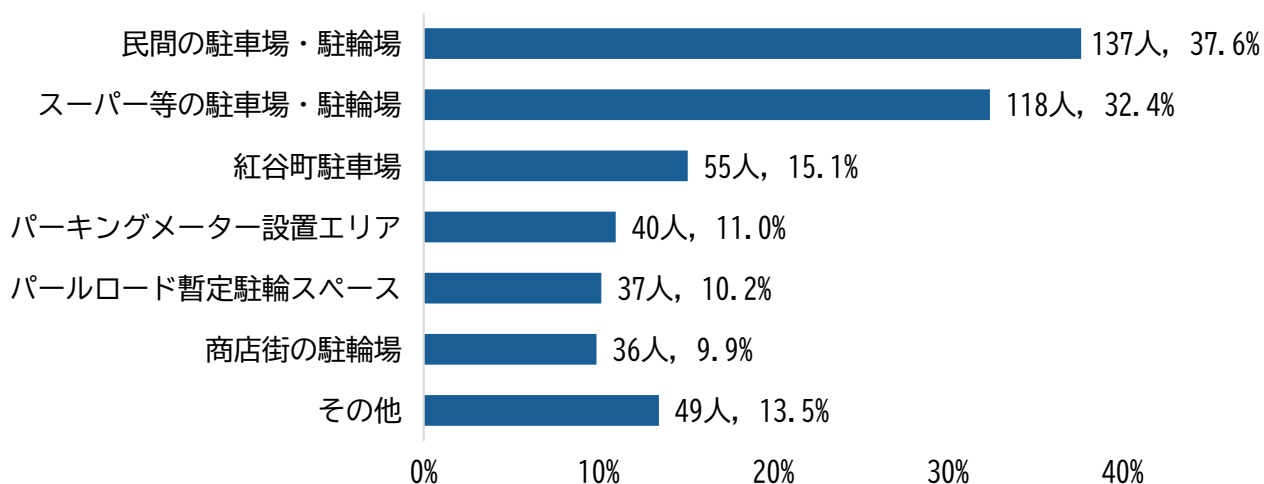


### ③ 駐車・駐輪場所（複数回答）

・②「交通手段」において「自家用車（自分で運転）」、「原付・バイク」、「自転車」と回答した方を対象としています。

「民間の駐車場・駐輪場」(37.6%)が最も多く、次いで「スーパー等の駐車場・駐輪場」(32.4%)が多くなっています。

平塚駅周辺地区における駐車・駐輪場所(n=364)〈複数回答可〉



#### ④ 駐車・駐輪場所に関する問題点・要望等（自由回答）

主な自由回答の内容は次のとおりです。

- ・自転車、バイクの駐輪場、駐車場が不足している
- ・駐車、駐輪料金がいため、無料化や割引をしてほしい
- ・情報発信（位置、空き情報）が不足している
- ・一方通行や道路の幅員等のアクセス性の向上が必要
- ・子育て世代に対応した駐車場が必要
- ・駅、商店街等目的の場所に近い駐車場が欲しい
- ・南口の駐車、駐輪場が不足している
- ・キャッシュレス化の推進が必要

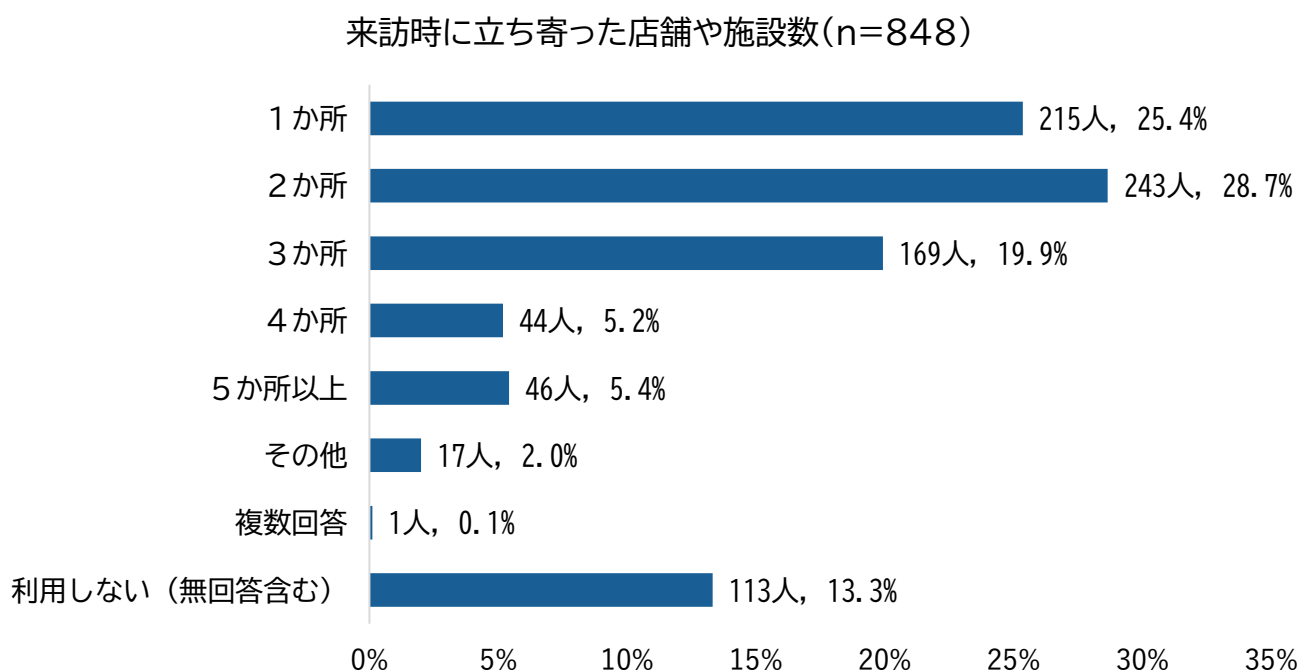
#### ⑤ バス利用に関する問題点・要望等（自由回答）

主な自由回答の内容は次のとおりです。

- ・情報発信（バスルート、乗り場の情報）が不足している。
- ・定時制、速達性の向上が必要
- ・運行時間、本数を増やしてほしい
- ・駅前広場のバス、タクシー、一般車の交差が危険
- ・乗り場の環境整備（雨天時の利用、駅との至近性、バリアフリー対応）をしてほしい
- ・駅との連続性を持ってほしい
- ・駅北側と南側をつなぐバスルートが欲しい
- ・コミュニティバスが欲しい
- ・駅前広場のデッキ化、バリアフリー対応をしてほしい
- ・ロータリーの増設が必要
- ・フェスタロードのパーキングメーターを廃止してほしい

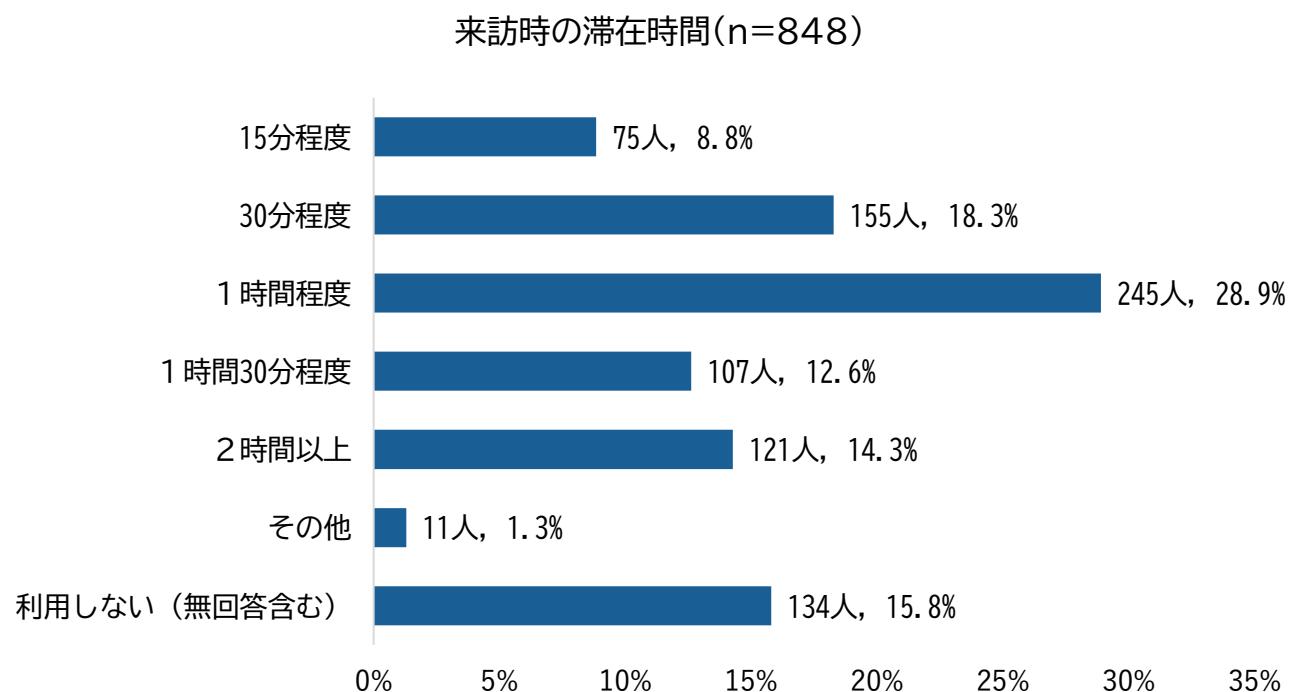
## ⑥ 最近来訪時に立ち寄った店舗や施設数

- ・「2か所」(28.7%)が最も多く、また2か所以上立ち寄った方が半数を超えていることがわかります。



## ⑦ 最近来訪時の滞在時間

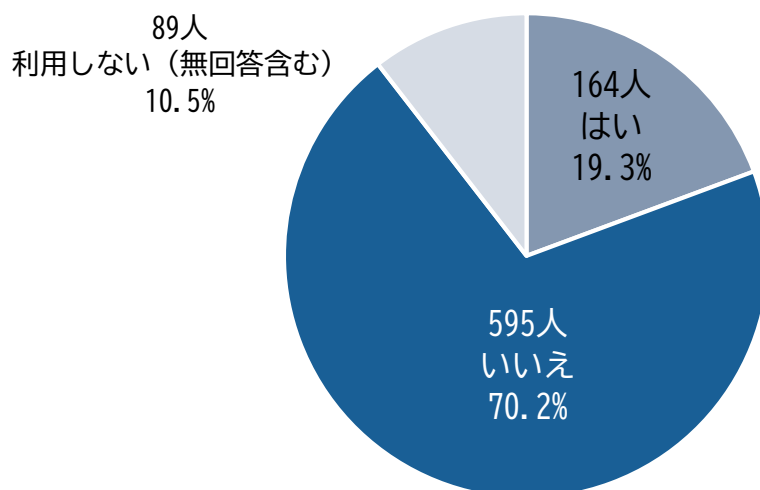
- ・「1時間程度」(28.9%)が最も多く、また半数以上の方が1時間以上滞在していることがわかります。



⑧ ウィンドウショッピングなど目的なく駅周辺地区へ来訪するか

・「はい」(19.3%)、「いいえ」(70.2%) となっています。

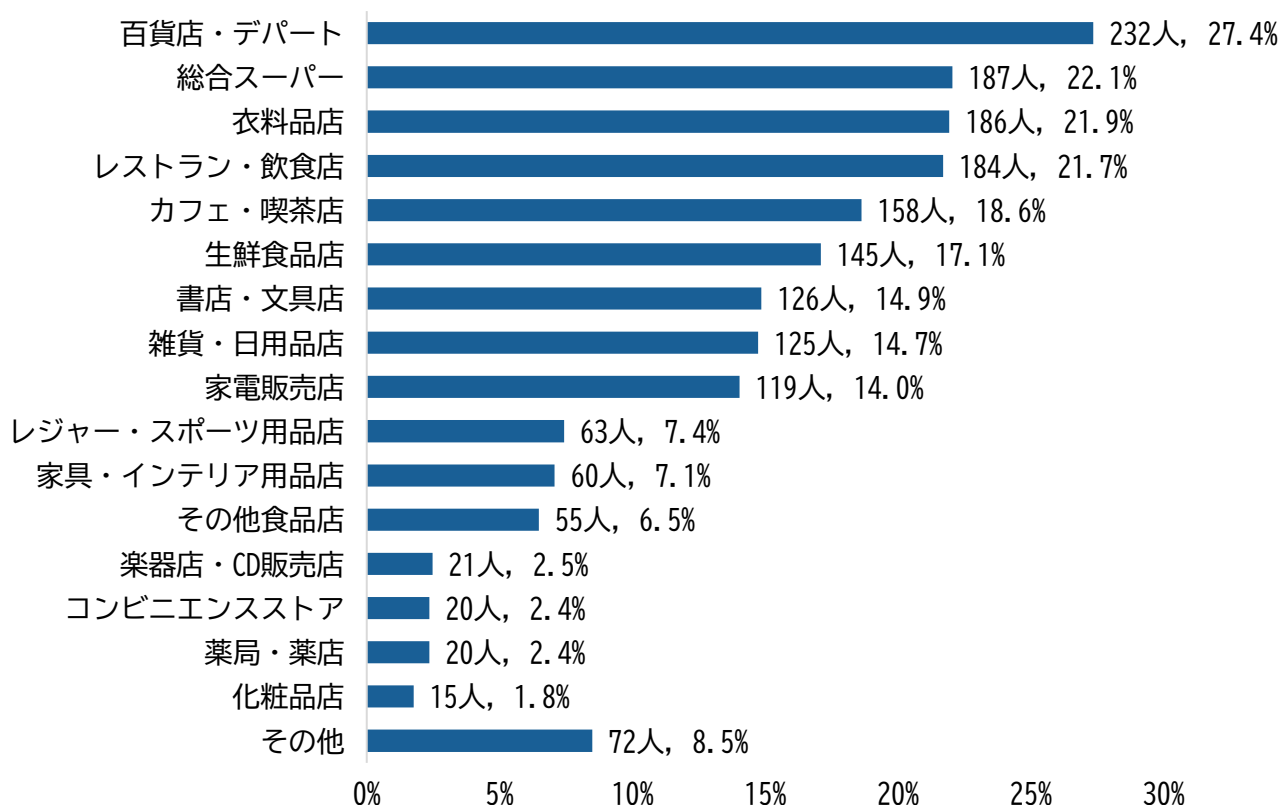
ウィンドウショッピングなど目的なく駅周辺地区へ来訪するか(n=848)



⑨ どのような店舗の出店・増加を期待するか

・「百貨店・デパート」(27.4%) が最も多くなっています。

どのような店舗の出店・増加を期待するか(n=848)

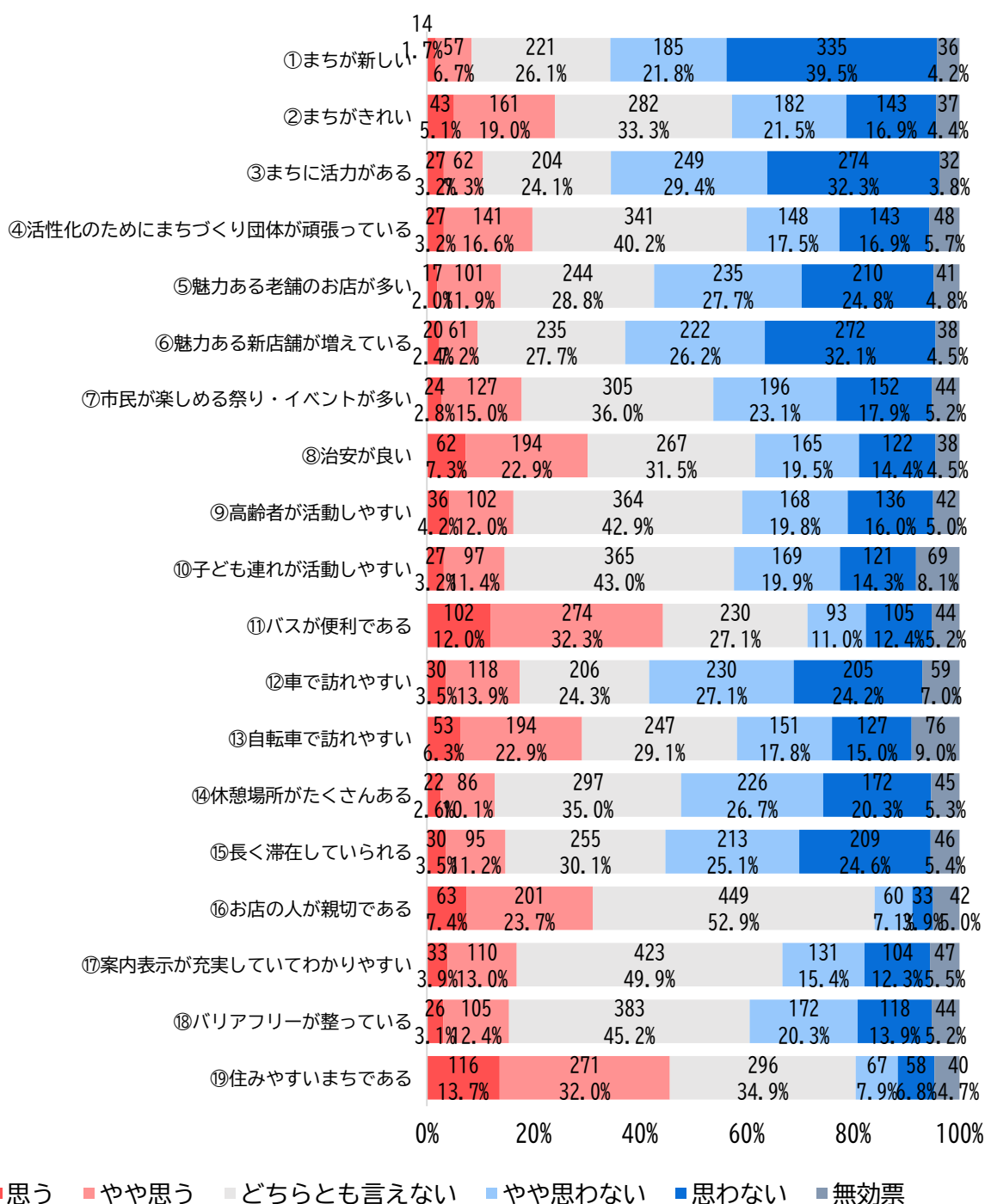


## 問6. 駅周辺地区の評価・イメージについて

駅周辺地区について、5段階で評価してください。また、駅周辺地区が人々の多様な活動が増え、賑わい、暮らしやすいまちになる上で重視する項目を1番目から3番目までお答えください。

・「住みやすいまちである」、「バスが便利である」について、「思う」、「やや思う」の回答数が4割以上と多くなっています。

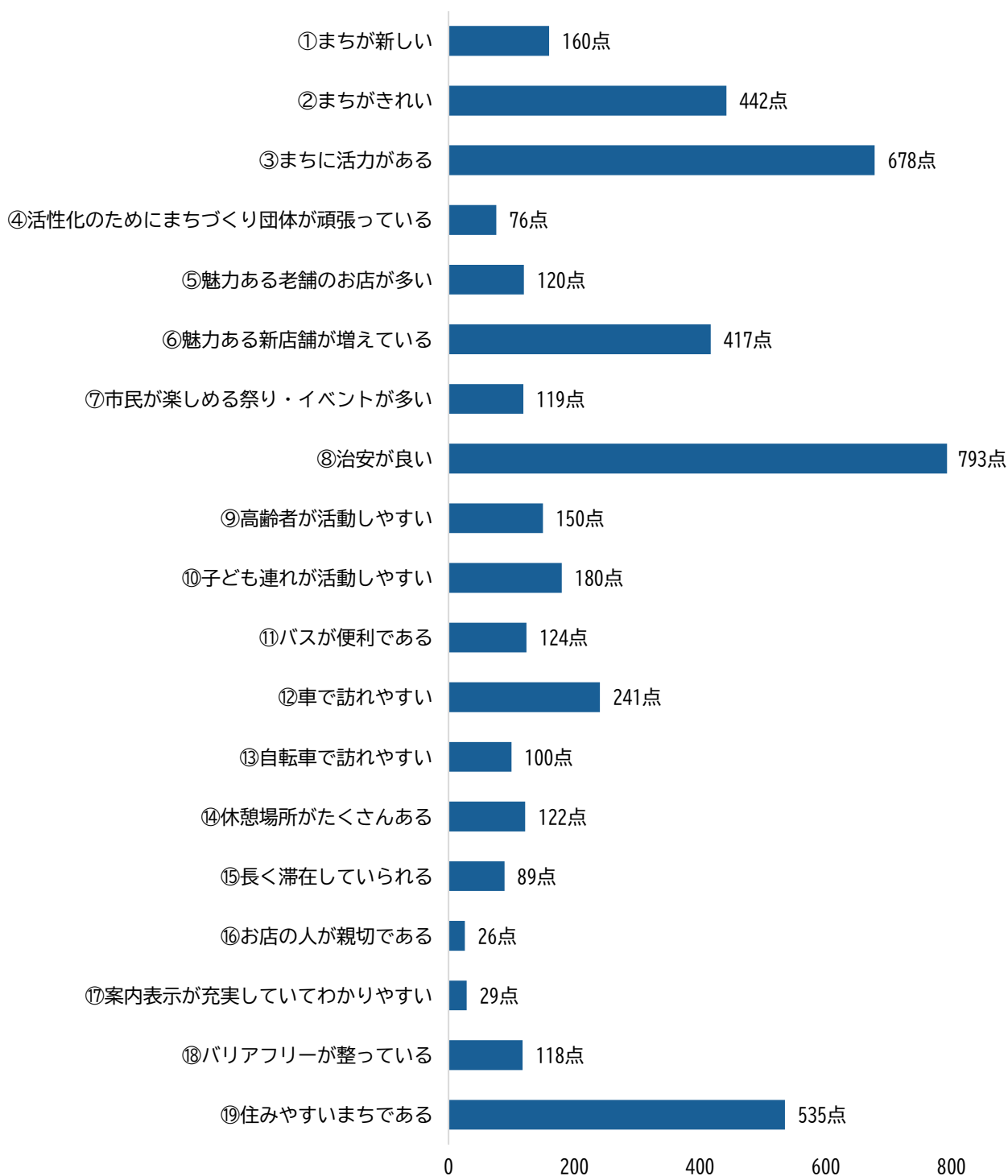
駅周辺地区の評価・イメージ(n=848)



⑳ 1番目に重視、㉑ 2番目に重視、㉒ 3番目に重視

・1番目に重視する項目を3点、2番目に重視する項目を2点、3番目に重視する項目を1点として算出した点数の合計を見ると、「治安が良い」(793点)が最も多くなっています。次いで「まちに活力がある」(678点)が多くなっています。

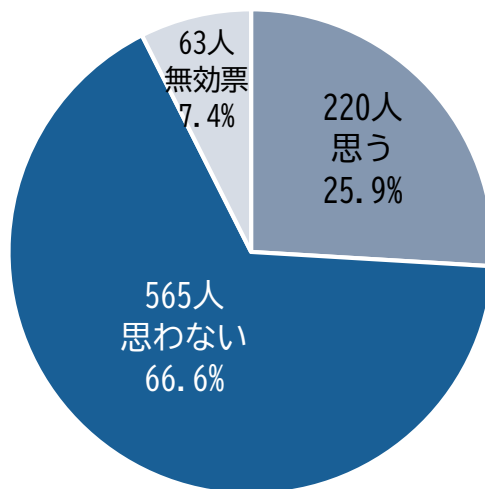
重視する項目(n=848)〈1番目:3点、2番目2点、3番目1点の合計点〉



⑳ 駅周辺地区に移り住みたい、又は住み続けたいと思うか

・「思う」(25.9%)、「思わない」(66.6%) となっています。

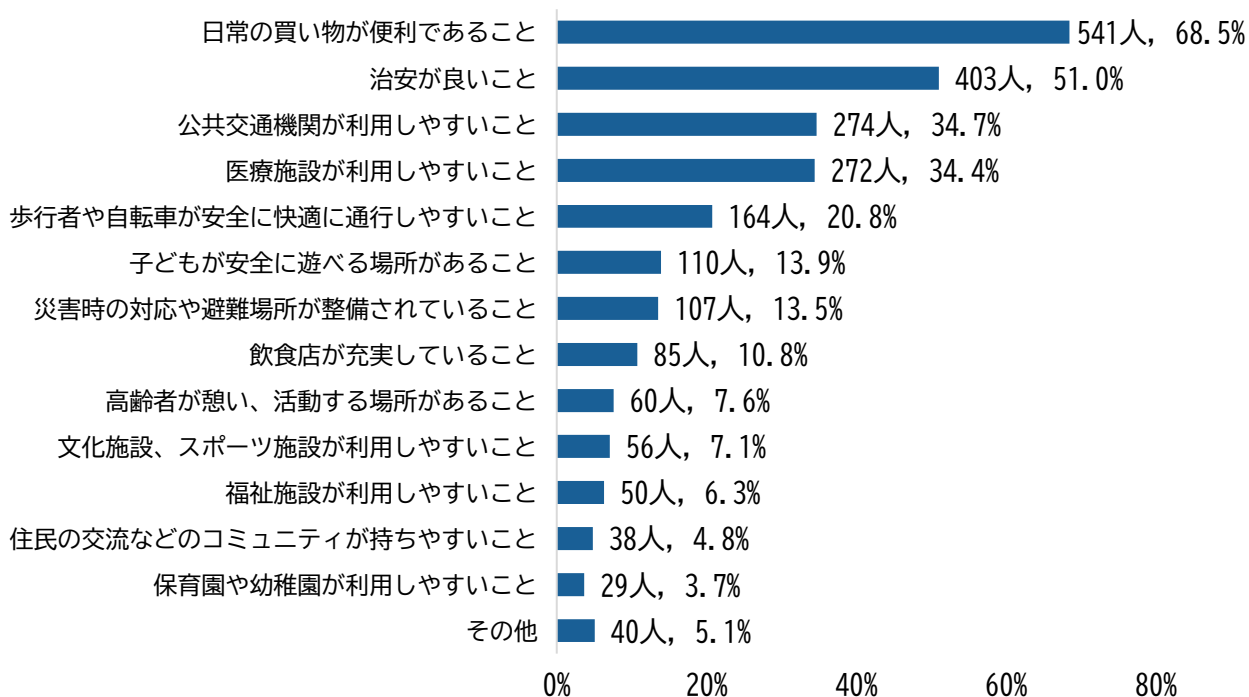
移り住みたい、住み続けたい(n=848)



㉑ 駅周辺地区に移り住みたい、又は住み続けたいと思う場所であるために必要な条件 (複数回答)

・「日常の買い物が便利である」(68.5%) が最も多く、次いで「治安が良い」(51.0%) となっています。

移り住みたい、又は住み続けたいと思う場所であるために必要な条件(n=848)〈複数回答可〉

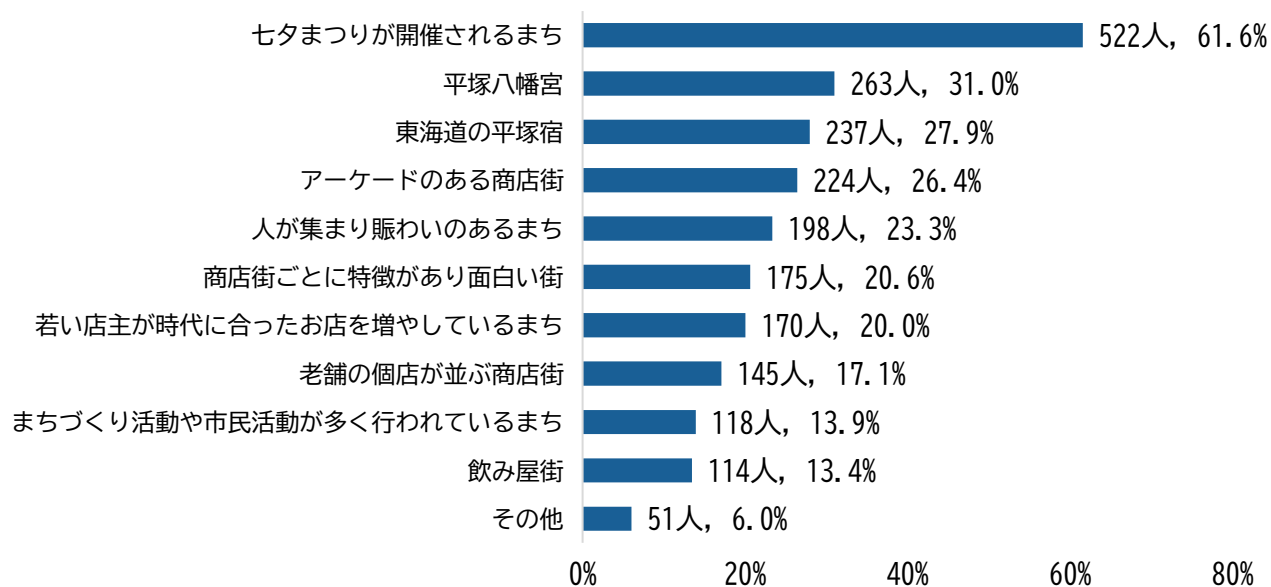




## ⑫ 平塚らしい駅周辺地区

・「七夕まつりが開催されるまち」(61.6%) が最も多くなっています。

平塚らしい駅周辺地区(n=848)〈複数回答可〉



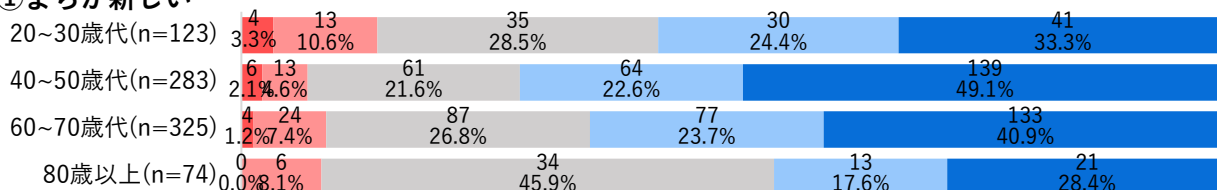
## ■クロス集計 駅周辺地区の評価・イメージと世代について

20～30歳代は、「市民が楽しめる祭り・イベントが多い」や「自転車で訪れやすい」が他の世代と比較して評価が高い傾向にあることがわかります。また、年齢層が高くなるにつれ「治安が良い」の評価が高くなっています。

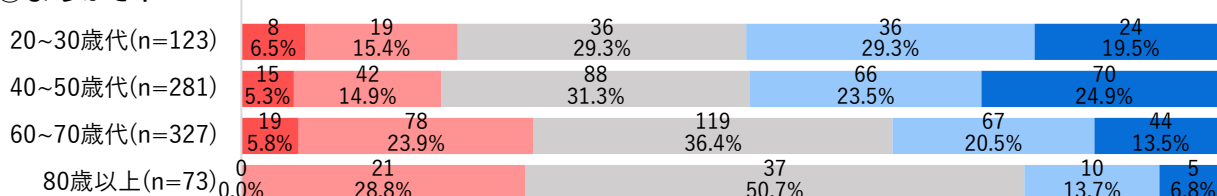
世代別の駅周辺地区駅周辺地区の評価・イメージ

※無効票を除く

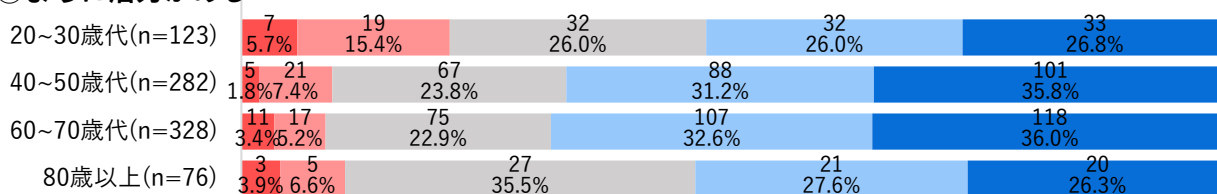
### ①まちが新しい



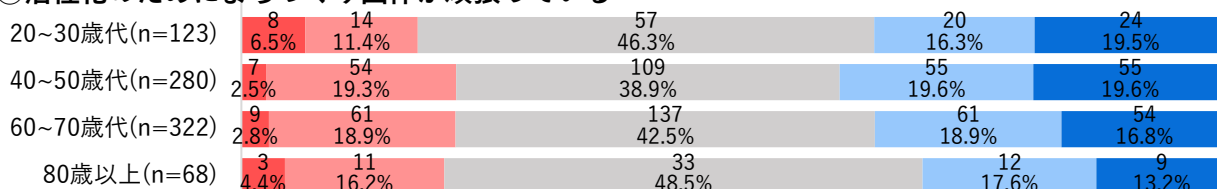
### ②まちがきれい



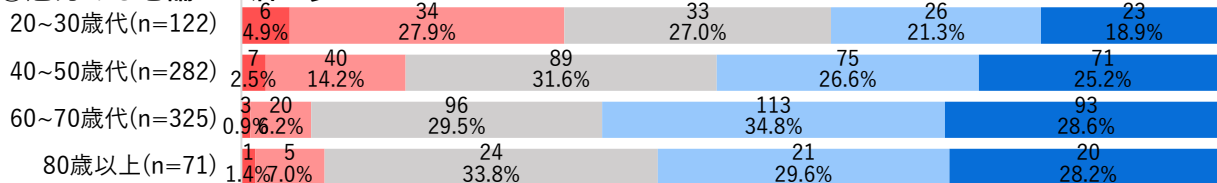
### ③まちに活力がある



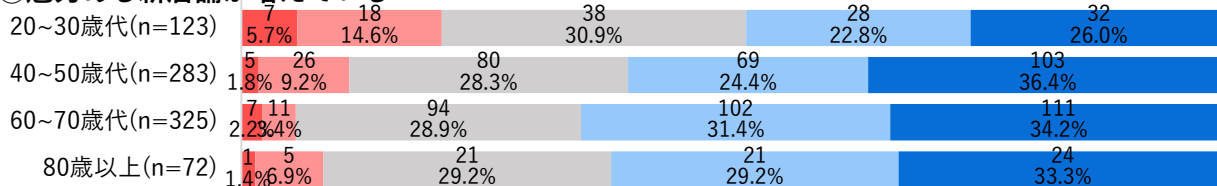
### ④活性化のためにまちづくり団体が頑張っている



### ⑤魅力ある老舗のお店が多い



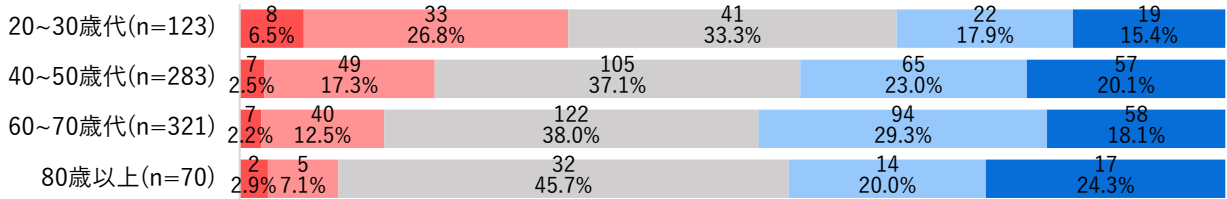
### ⑥魅力ある新店舗が増えている



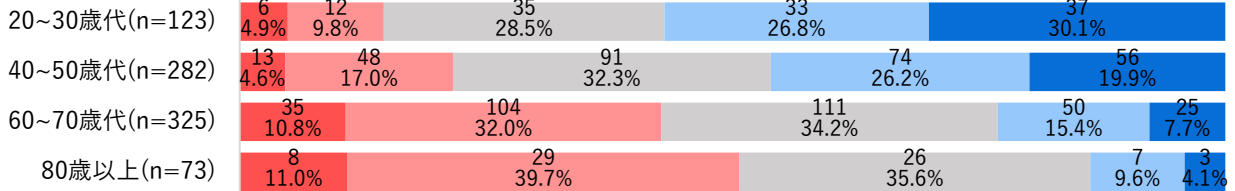
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ 思う ■ やや思う ■ どちらとも言えない ■ やや思わない ■ 思わない

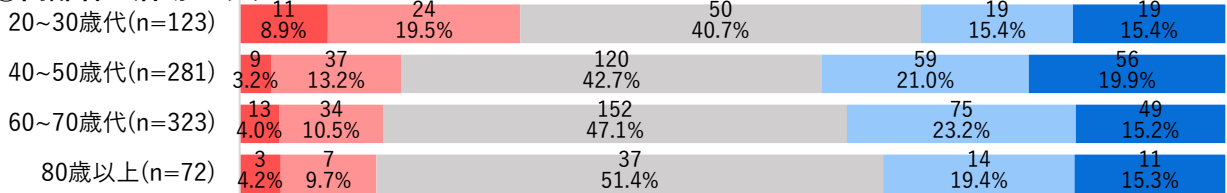
⑦市民が楽しめる祭り・イベントが多い



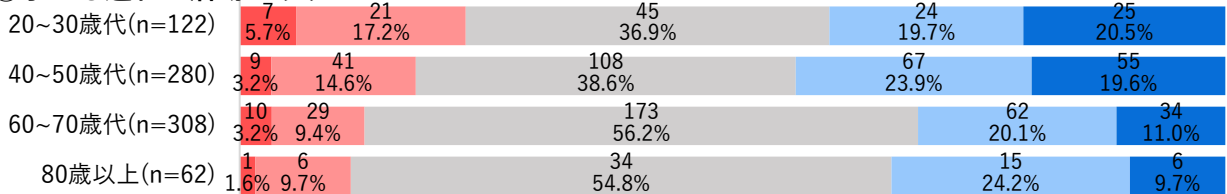
⑧治安が良い



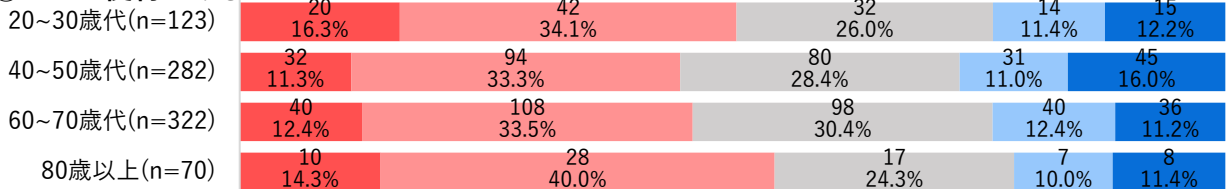
⑨高齢者が活動しやすい



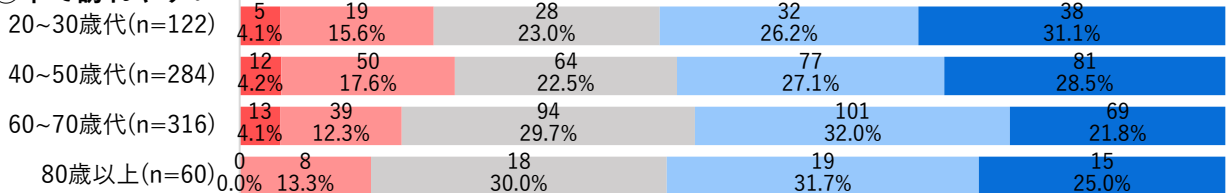
⑩子ども連れが活動しやすい



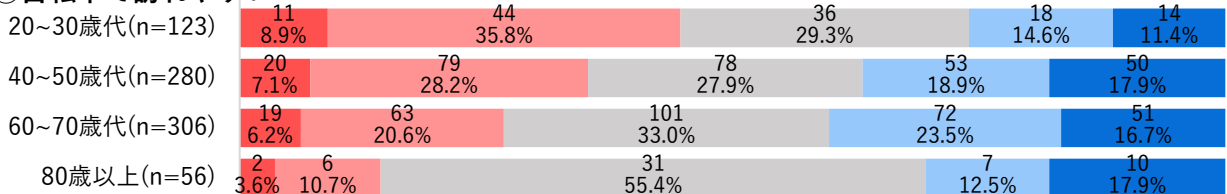
⑪バスが便利である



⑫車で訪れやすい



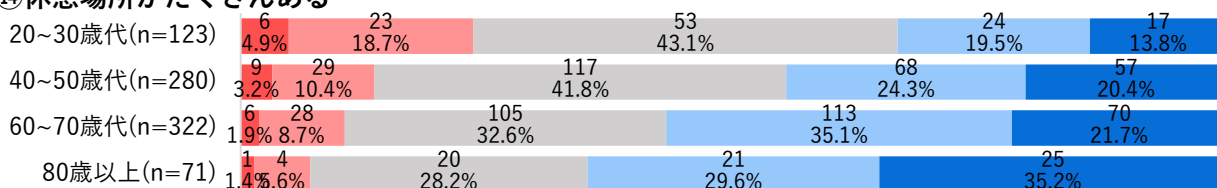
⑬自転車で訪れやすい



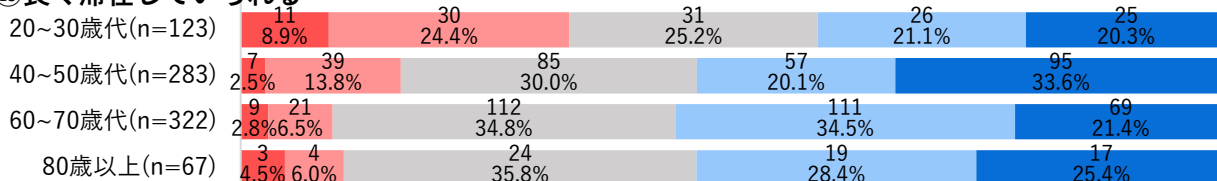
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■ 思う ■ やや思う ■ どちらとも言えない ■ やや思わない ■ 思わない

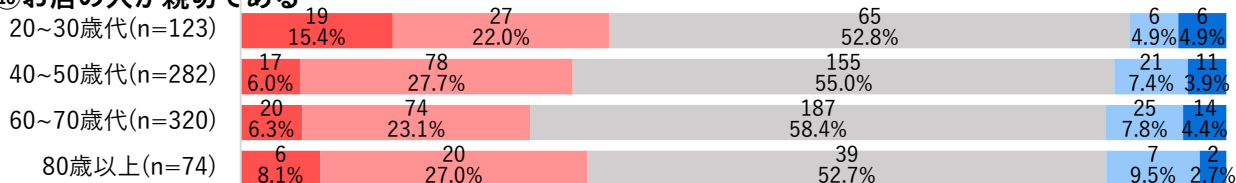
⑭ 休憩場所がたくさんある



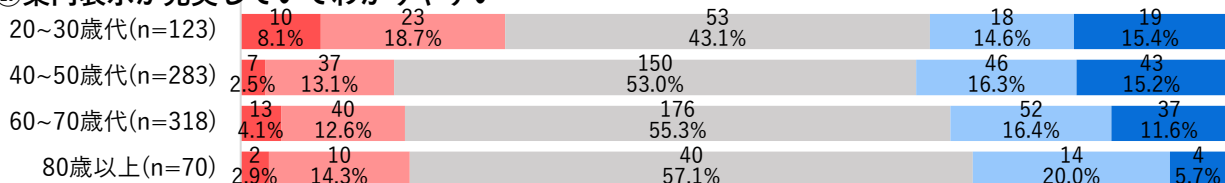
⑮ 長く滞在していただける



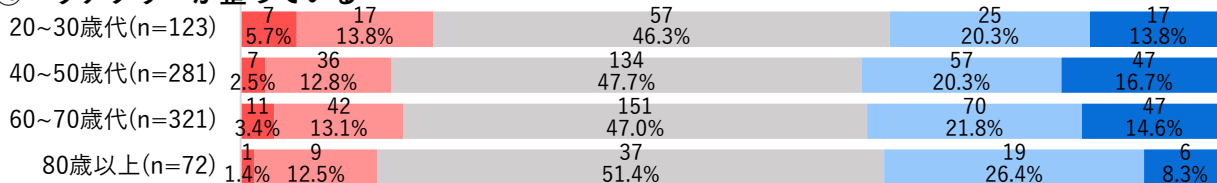
⑯ お店の人が親切である



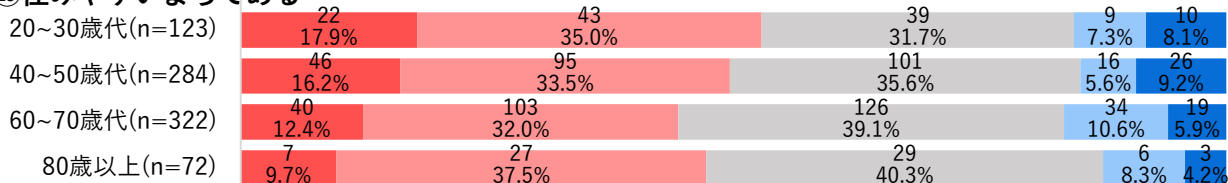
⑰ 案内表示が充実していてわかりやすい



⑱ バリアフリーが整っている



⑲ 住みやすいまちである



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

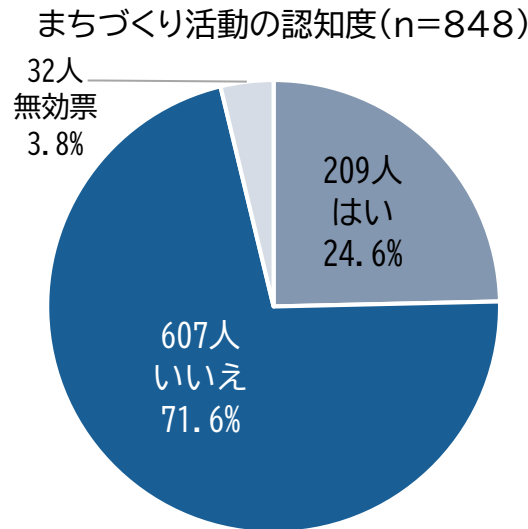
■ 思う ■ やや思う ■ どちらとも言えない ■ やや思わない ■ 思わない

## 問7. 駅周辺地区のまちづくり活動について

駅周辺地区では、駅周辺の商店街の活性化を目的とした、駅前商店街の若手商業者を中心とした任意団体である「平塚まちなか活性化隊（まち活）」等が中心となり、まちを活性化させるための取り組みを実施しています。

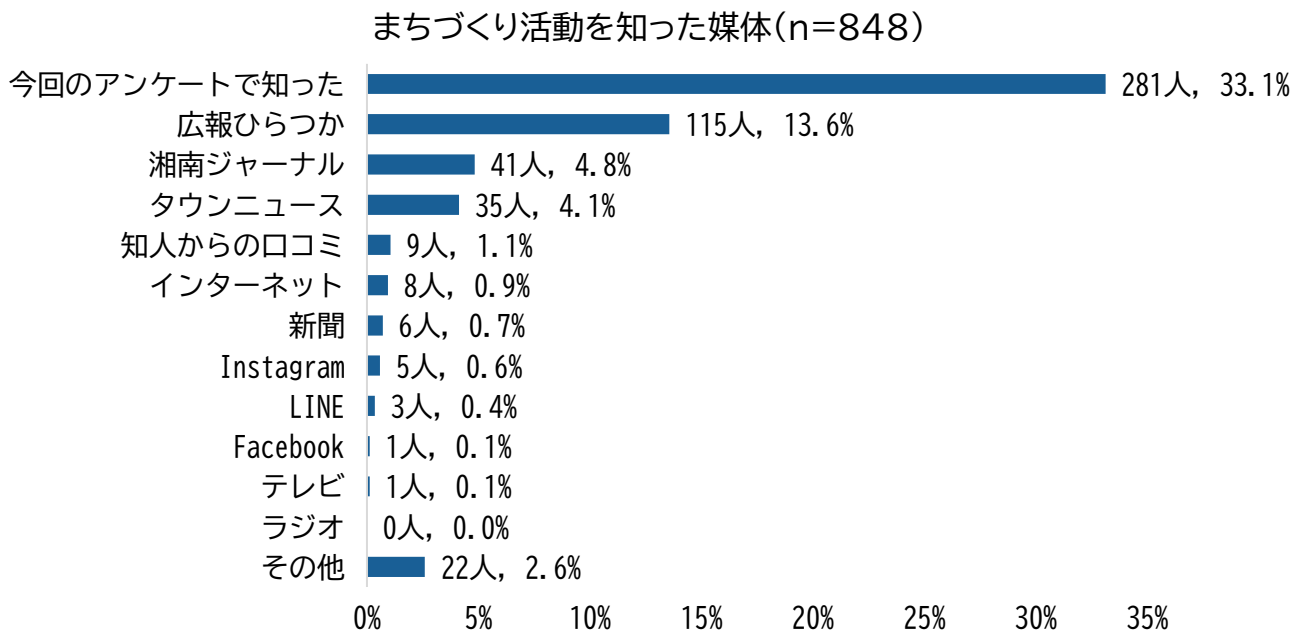
### ① まちづくり活動の認知度

・「はい」(24.6%)、「いいえ」(71.6%) となっています。



### ② まちづくり活動を知った媒体

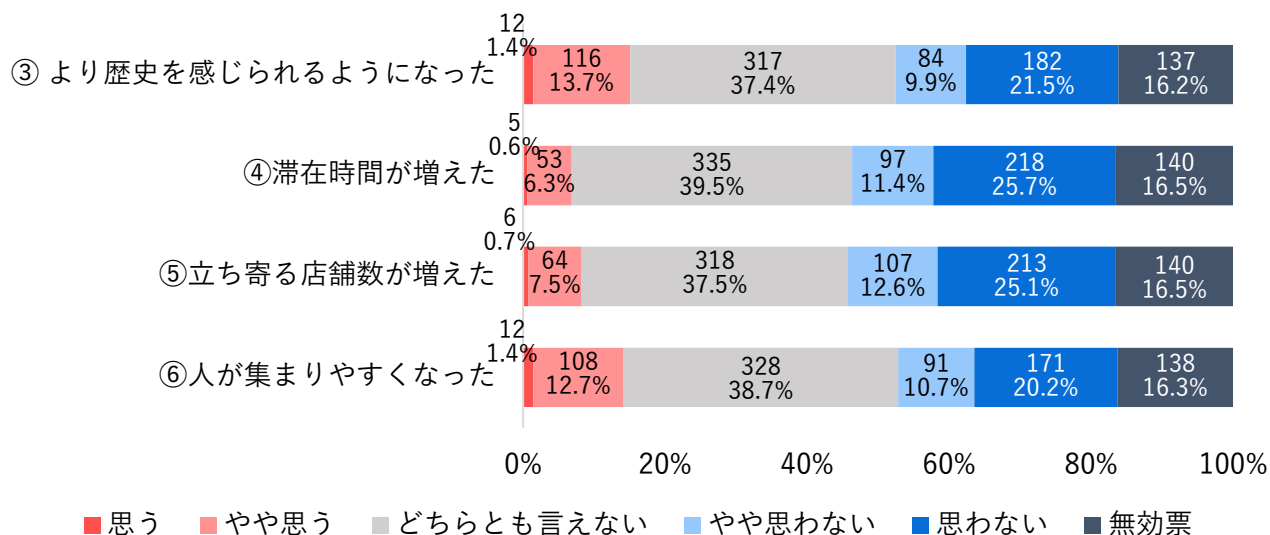
・「今回のアンケートで知った」(33.1%)が一番多く、次いで「広報ひらつか」(13.6%)となっています。



### ③～⑥ まちづくり活動に対するイメージ

・「より歴史を感じられるようになった」、「人が集まりやすくなった」について、「思う」、「やや思う」と回答した方が合わせて2割弱いました。

まちづくり活動に対するイメージ(n=848)



### ⑦ まちづくり活動への印象や意見について（自由回答）

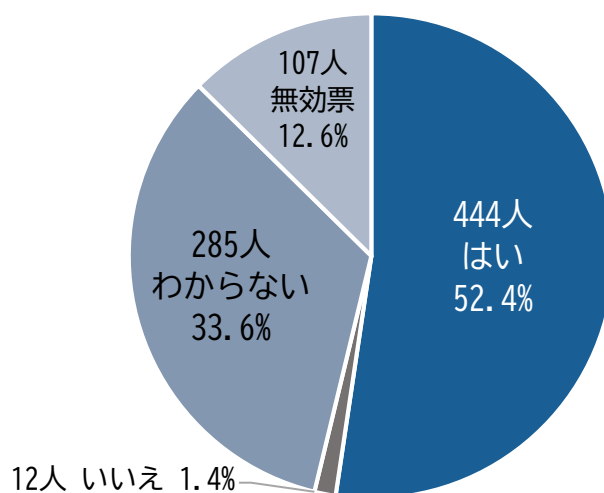
主な自由回答の内容は次のとおりです。

- ・情報発信が不足している
- ・リピートしたくなるような活動が必要
- ・連続性を持ったイベントが必要
- ・参加者のニーズ把握が必要
- ・デジタル化を推進が必要
- ・ハードとソフトが連携した活動が必要
- ・平塚市の資源を活かした活動が必要
- ・多様な世代に対応したイベントが必要
- ・事業継続性（マネタイズ）のある活動が必要
- ・学生が滞留できる場所が必要
- ・定期的なイベントが必要
- ・関わる人を広げる必要がある

### ⑧ 今後も継続して活動すべきか

「今後も継続していくべき」（52.4%）が最も多くなっています。

今後も継続して活動すべきか(n=848)

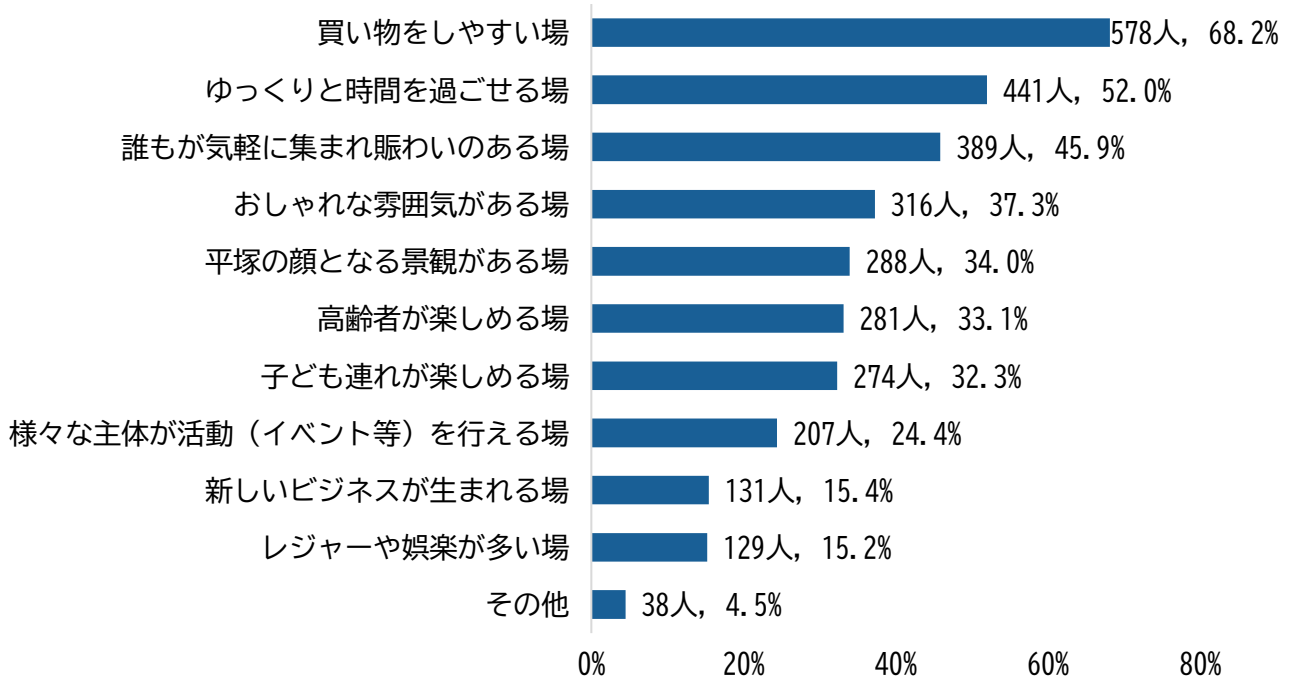


## 問8. 駅周辺地区の将来について

### ① どのような場になったら良いか（複数回答）

・「買い物をしやすい場」（68.2%）が最も多く、次いで「ゆっくりと時間を過ごせる場」（52.0%）となっています。

どのような場になったら良いか(n=848)〈複数回答可〉

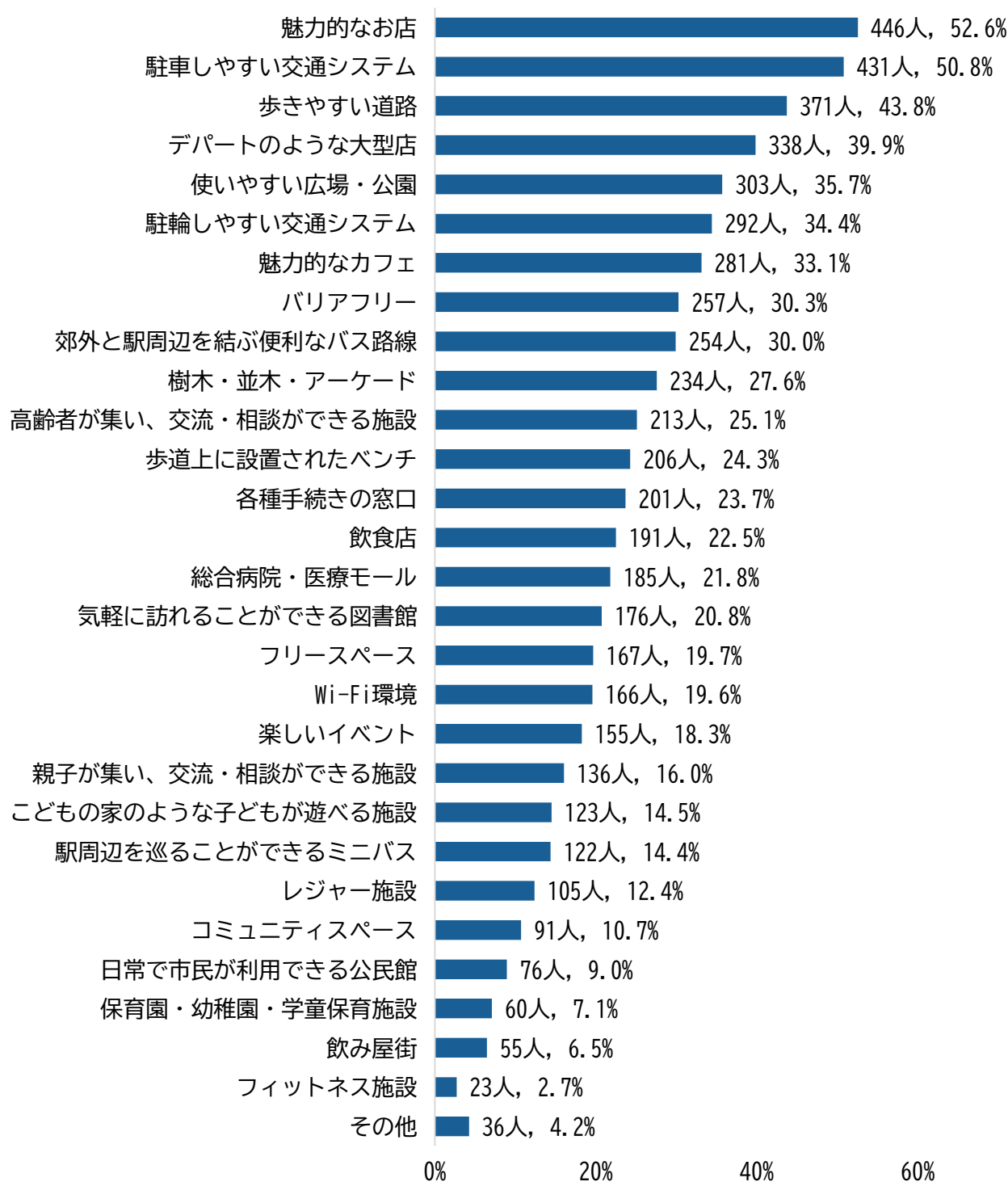




## ② どのような機能やサービスが必要か（複数回答）

・「魅力的なお店」（52.6%）が最も多く、次いで「駐車しやすい交通システム」（50.8%）となっています。

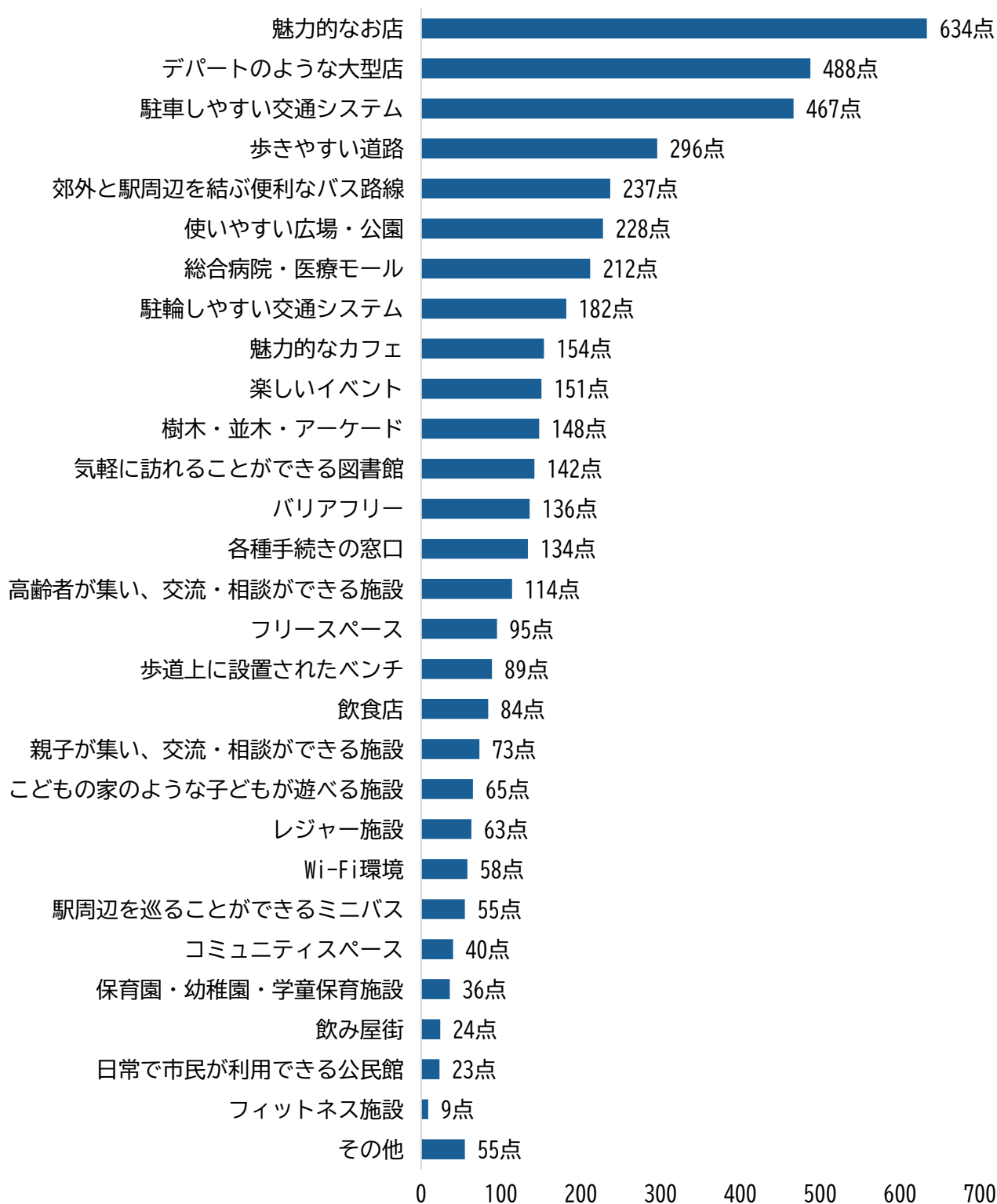
駅周辺地区に必要な機能やサービス(n=848)〈複数回答可〉



③ 1番目に重視、④ 2番目に重視、⑤ 3番目に重視

・1番目に重視する項目を3点、2番目に重視する項目を2点、3番目に重視する項目を1点として算出した点数の合計を見ると、「魅力的なお店」(634点)が最も高くなりました。

重視する項目(n=848)〈一番目:3点、二番目2点、三番目1点の合計点〉

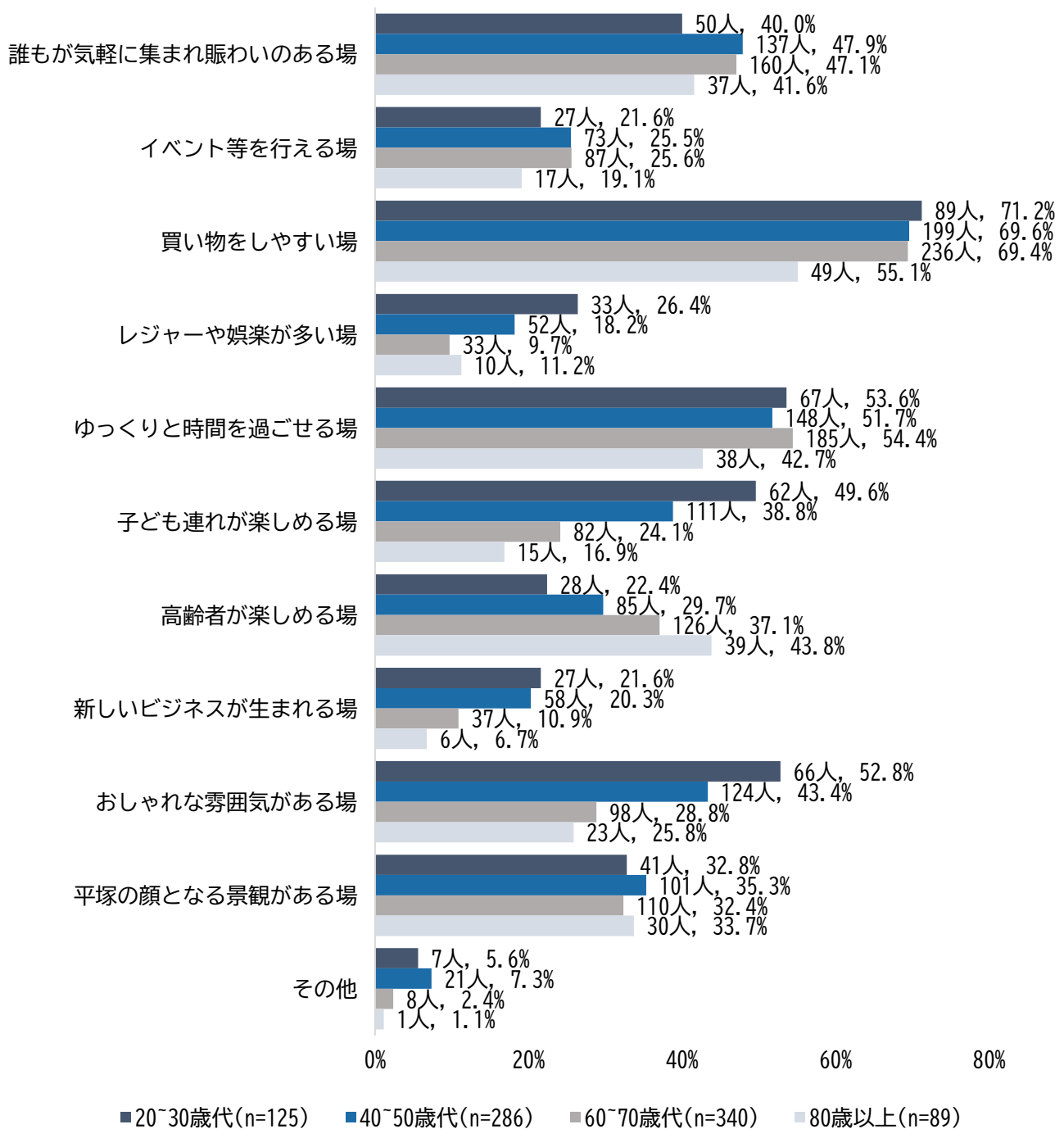


## ■クロス集計 駅周辺地区の将来と世代について

### ① どのような場になったら良いか（複数回答）

- ・20～30歳代では、他世代と比べて「子ども連れが楽しめる場」（49.6%）、「おしゃれな雰囲気がある場」（52.8%）の割合が多くなっています。また、年齢層が高くなるにつれ「高齢者が楽しめる場」の割合が多くなっています。

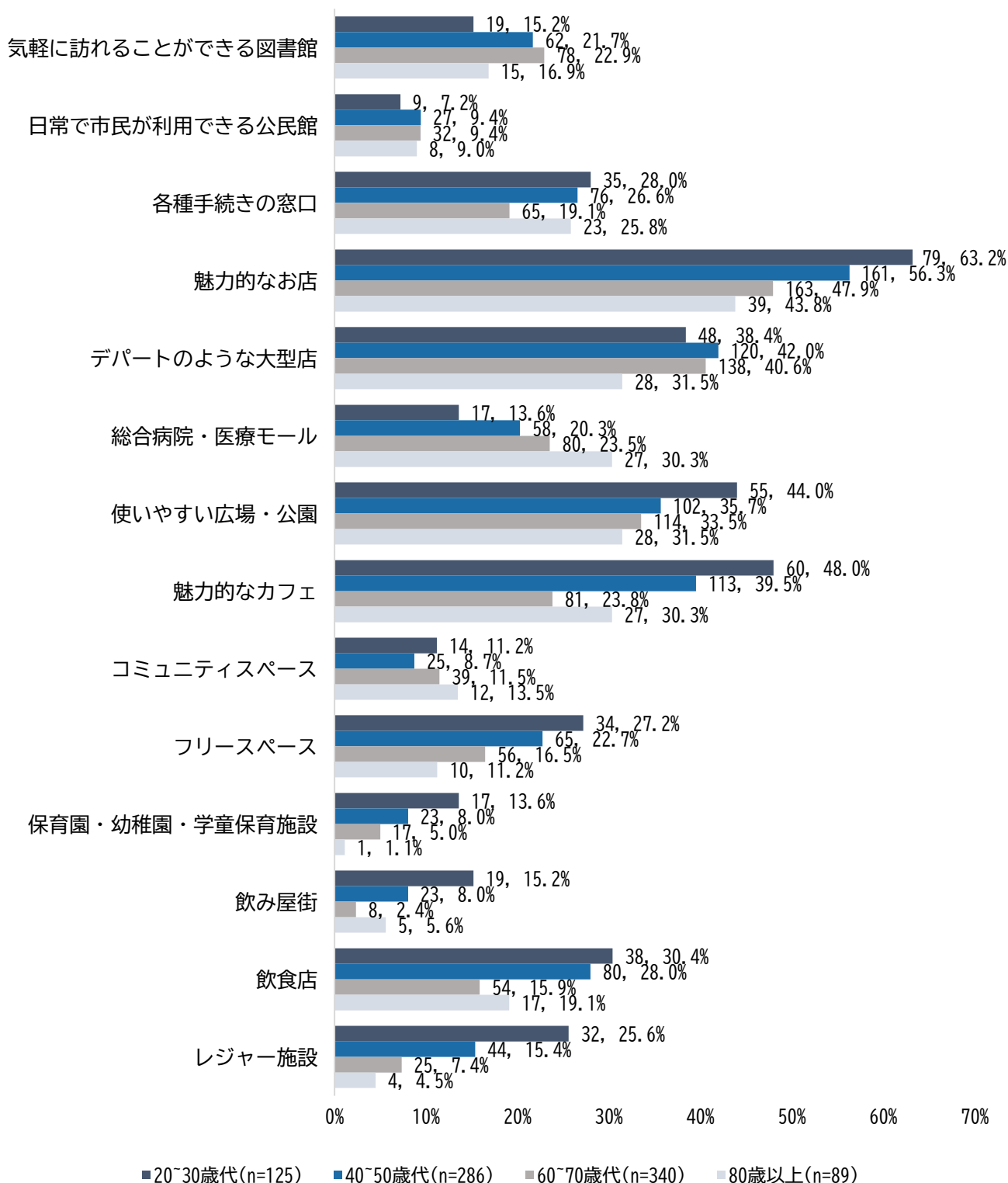
世代別 どのような場になったら良いか〈複数回答可〉



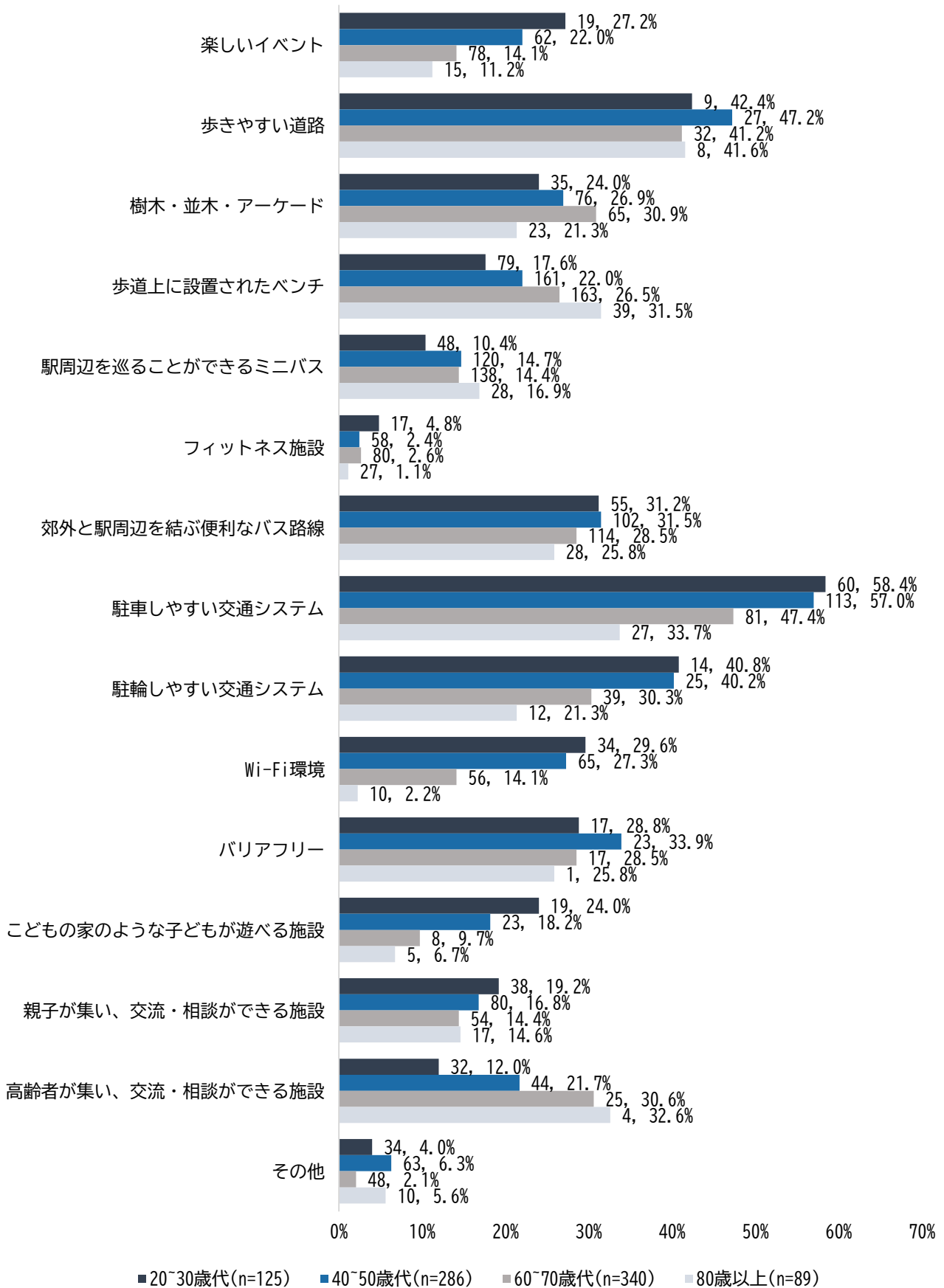
## ② どのような機能やサービスが必要か（複数回答）

- ・「歩きやすい道路」は、全ての世代で高い割合となりました。
- ・20～30歳代では、「魅力的なお店」（63.2%）、「駐車しやすい交通システム」（58.4%）が多く  
なっており、他世代と比べても割合が多くなっています。

世代別 駅周辺地域に必要な機能やサービス（複数回答可）



世代別 駅周辺地域に必要な機能やサービス(複数回答可)

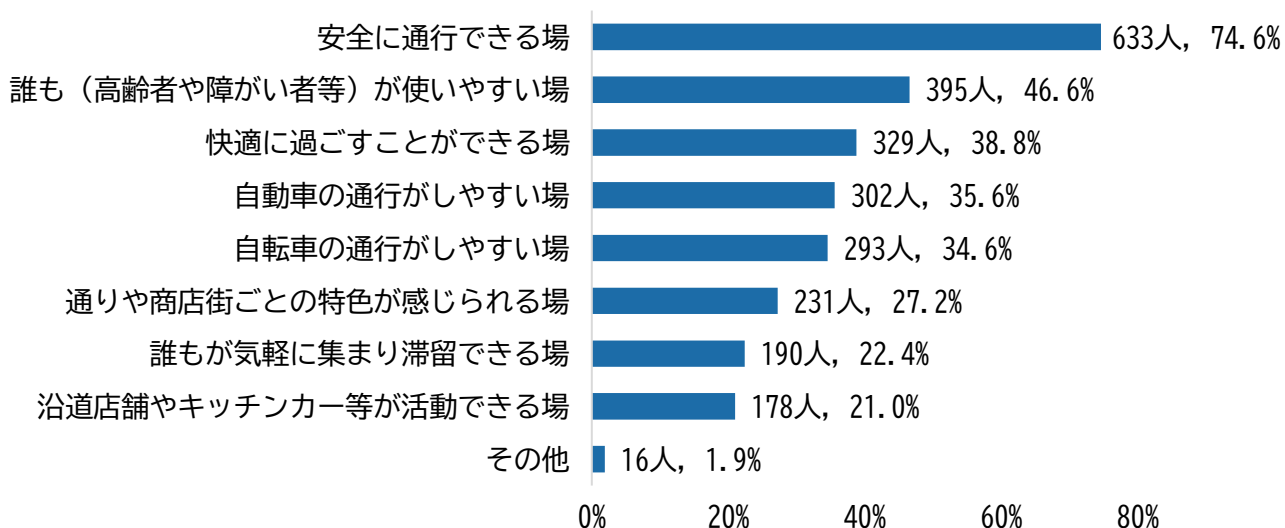


## 問9. 駅周辺地区の道路・公園などについて

### ① 道路空間はどのような場になったら良いか（複数回答）

・「安全に通行できる場」（74.6%）が最も多くなりました。

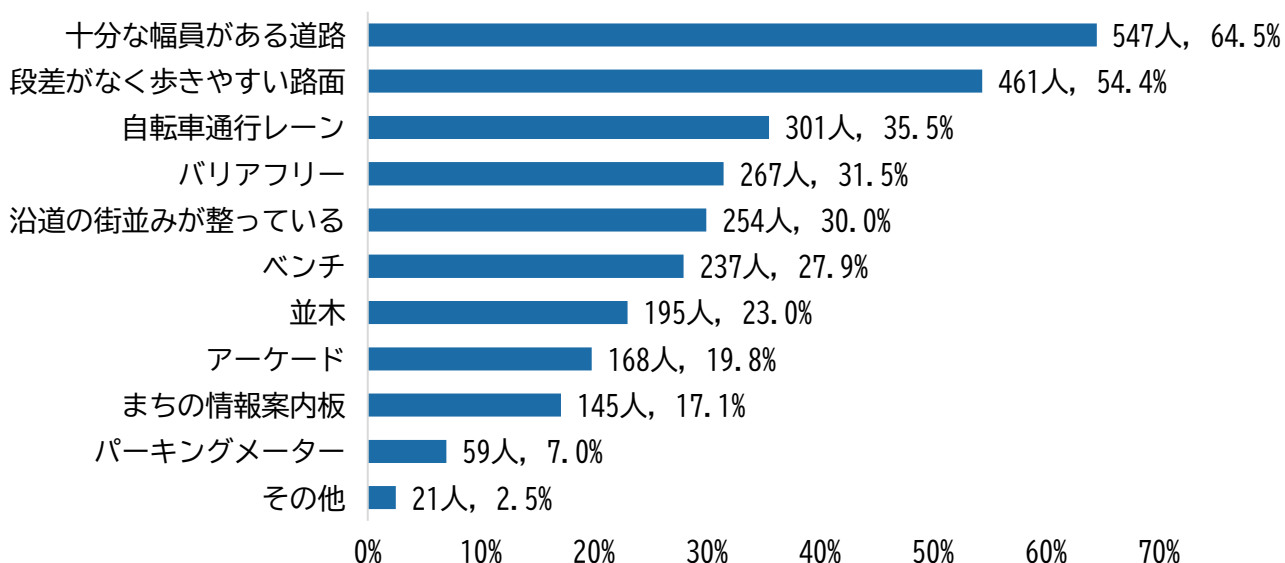
道路空間はどのような場になったら良いか(n=848)〈複数回答可〉



### ② 道路空間に必要な施設（複数回答）

・「十分な幅員がある道路」（64.5%）が最も多くなりました。次いで、「段差がなく歩きやすい路面」（54.4%）となっています。

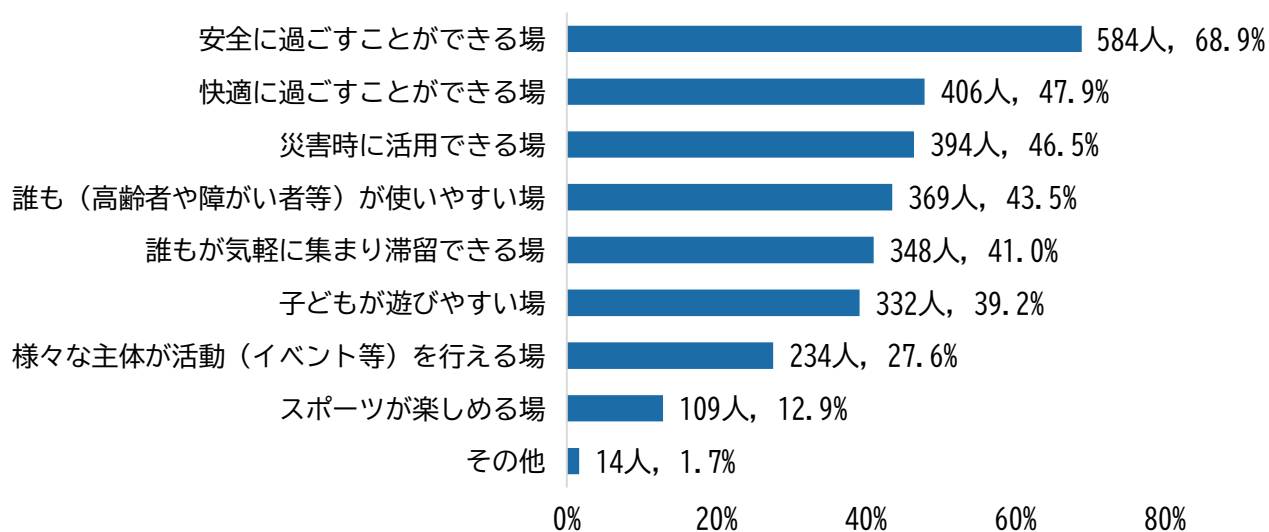
道路空間に必要な施設(n=848)〈複数回答可〉



### ③ 公園・広場はどのような場になったら良いか（複数回答）

・「安全に過ごすことができる場」（68.9%）が最も多くなりました。

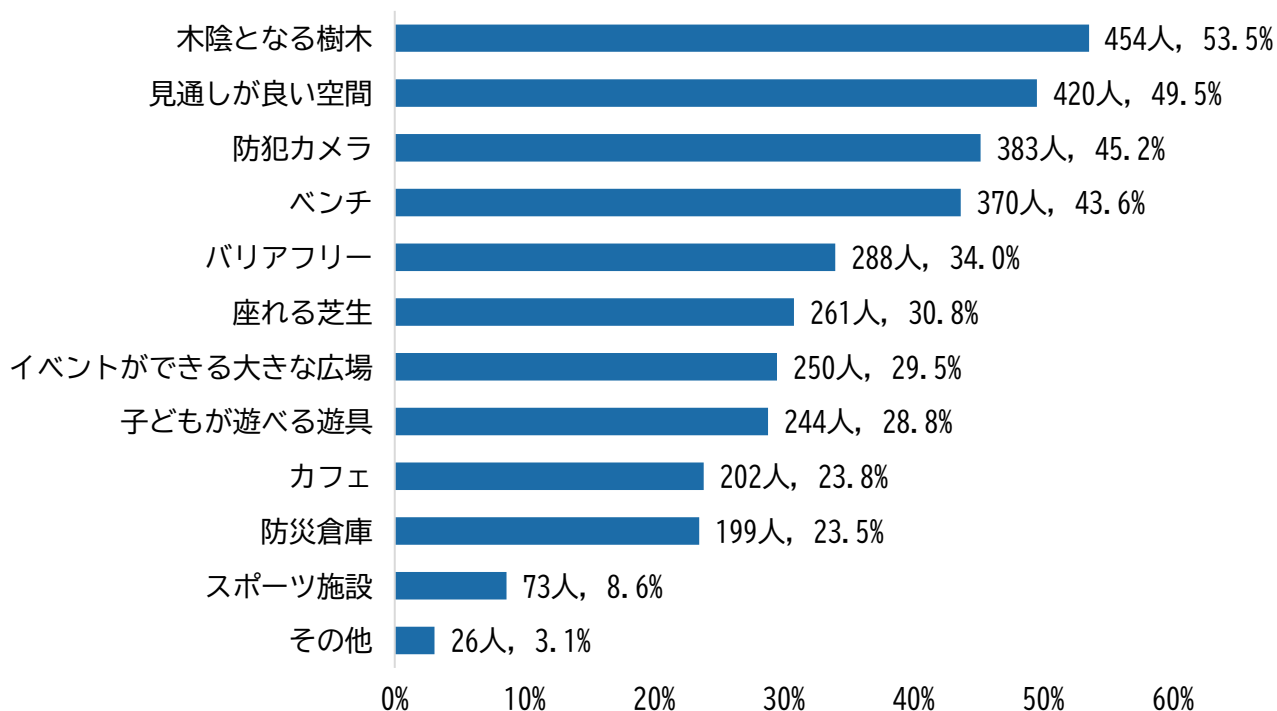
公園・広場はどのような場になったら良いか(n=848)〈複数回答可〉



### ④ 公園・広場に必要な施設（複数回答）

・「木陰となる樹木」（53.5%）が最も多く、次いで「見通しが良い空間」（49.5%）となっています。

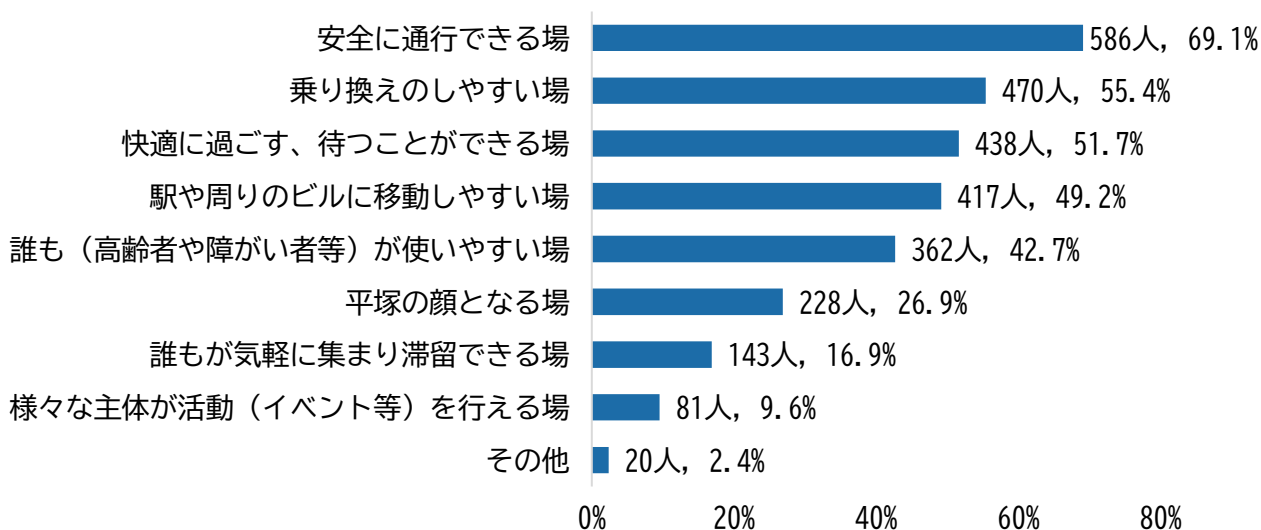
公園・広場に必要な施設(n=848)〈複数回答可〉



⑤ 駅前広場はどのような場になったら良いか（複数回答）

・「安全に通行できる場」（69.1%）が最も多くなりました。

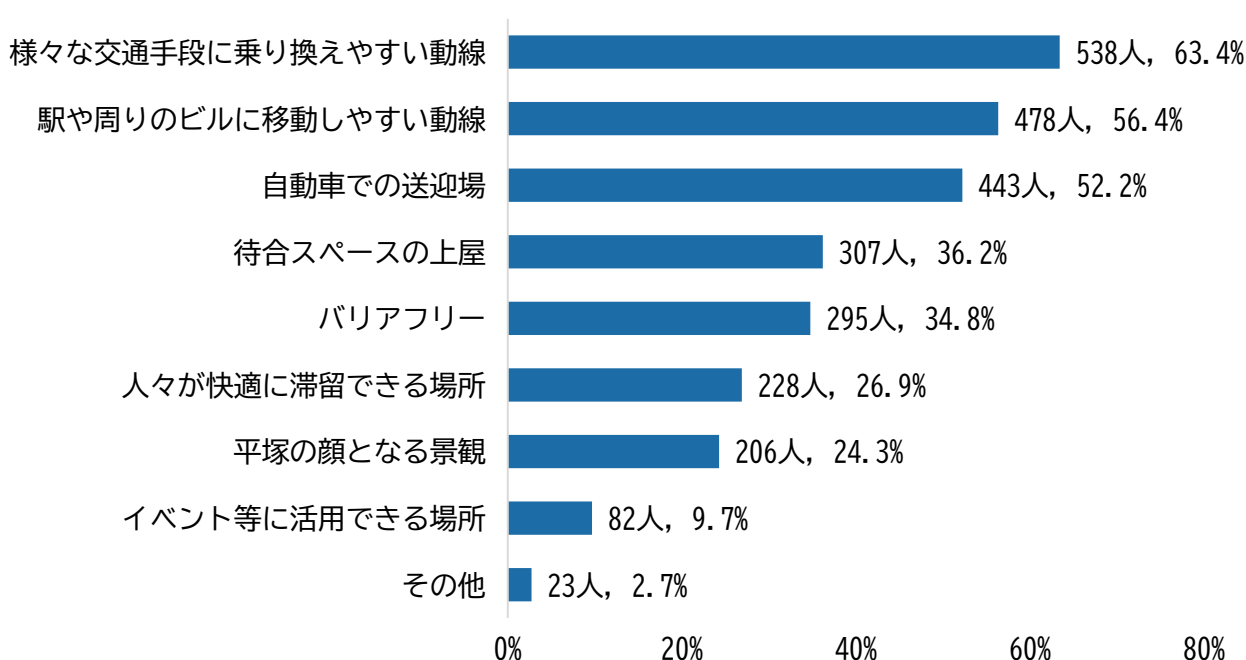
駅前広場はどのような場になったら良いか(n=848)〈複数回答可〉



⑥ 駅前広場に必要な施設（複数回答）

・「様々な交通手段に乗り換えしやすい動線」（63.4%）が最も多く、次いで「駅や周りのビルに移動しやすい動線」（56.4%）となっています。

駅前広場に必要な施設(n=848)〈複数回答可〉



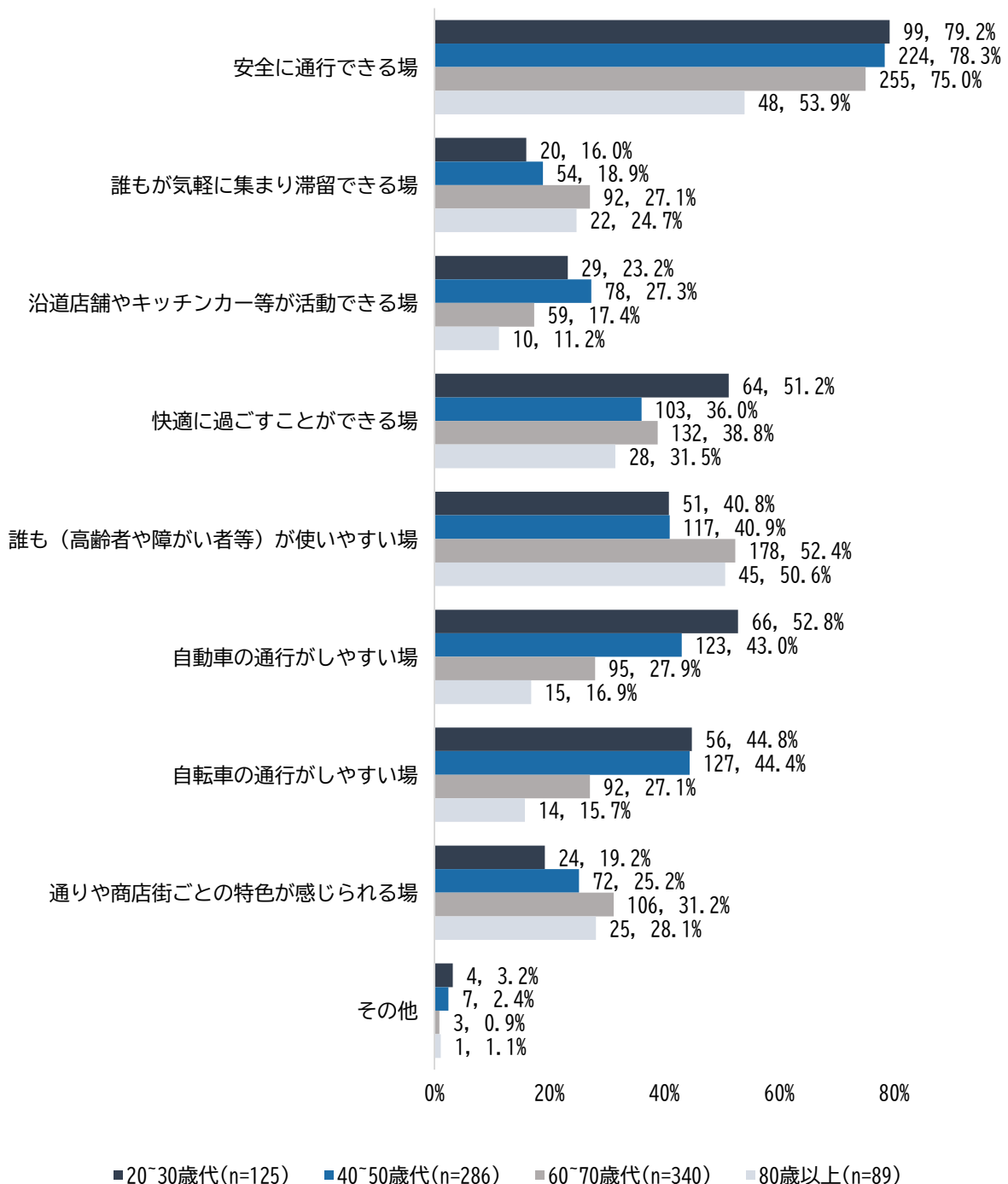


## ■クロス集計 駅周辺地区の道路・公園などと世代について

### ① 道路空間はどのような場になったら良いか（複数回答）

- ・20～30歳代では、他世代と比べて「快適に過ごすことができる場」や「自動車の通行がしやすい場」の割合が多くなっています。60～70歳代、80歳以上では、多世代と比べて「誰も（高齢者や障がい者等）が使いやすい場」の割合が多くなっています。

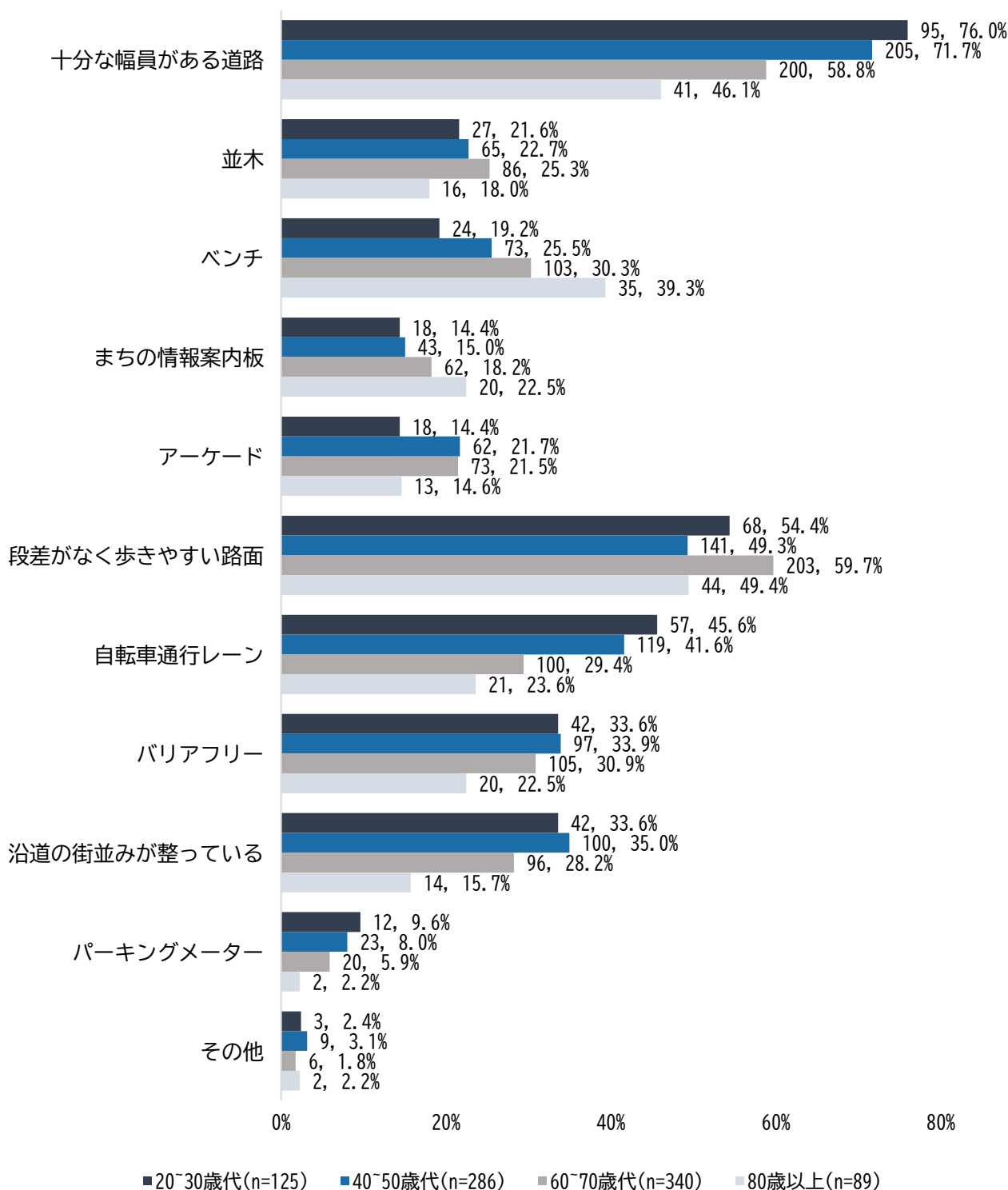
世代別 道路空間はどのような場になったら良いか〈複数回答可〉



## ② 道路空間に必要な施設（複数回答）

- ・20～30歳代では、他世代と比べて、「十分な幅員がある道路」、「自転車通行レーン」の割合が多くなっています。また、年齢層が高くなるにつれ「ベンチ」、「まちの情報案内板」の割合が多くなっています。

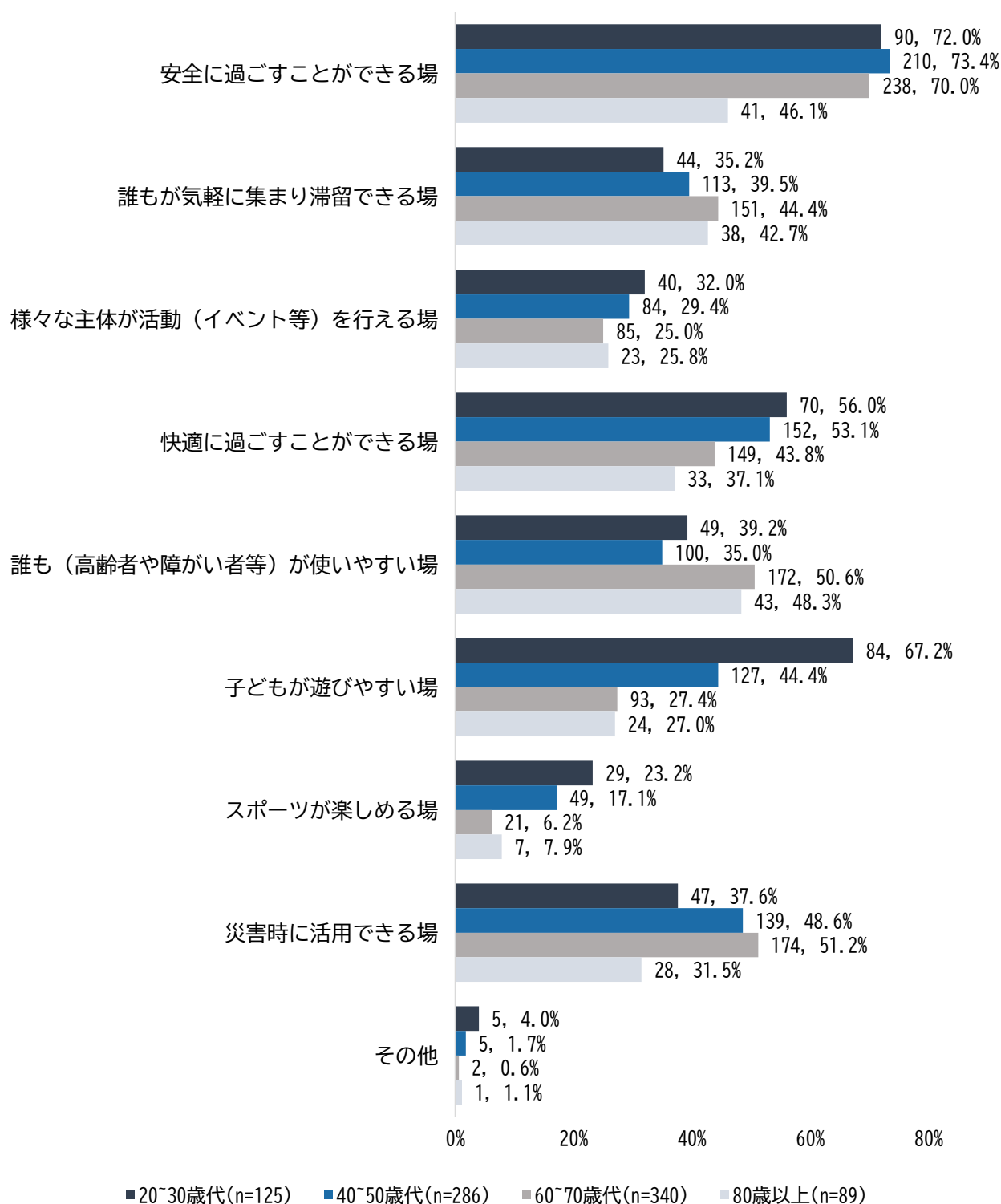
世代別 道路空間に必要な施設〈複数回答可〉



### ③ 公園・広場はどのような場になったら良いか（複数回答）

- ・20～30歳代では、他世代と比べて「子どもが遊びやすい場」の割合が多くなっています。
- ・60～70歳代、80歳以上では、多世代と比べて「誰も（高齢者や障がい者等）が使いやすい場」の割合が多くなっています。

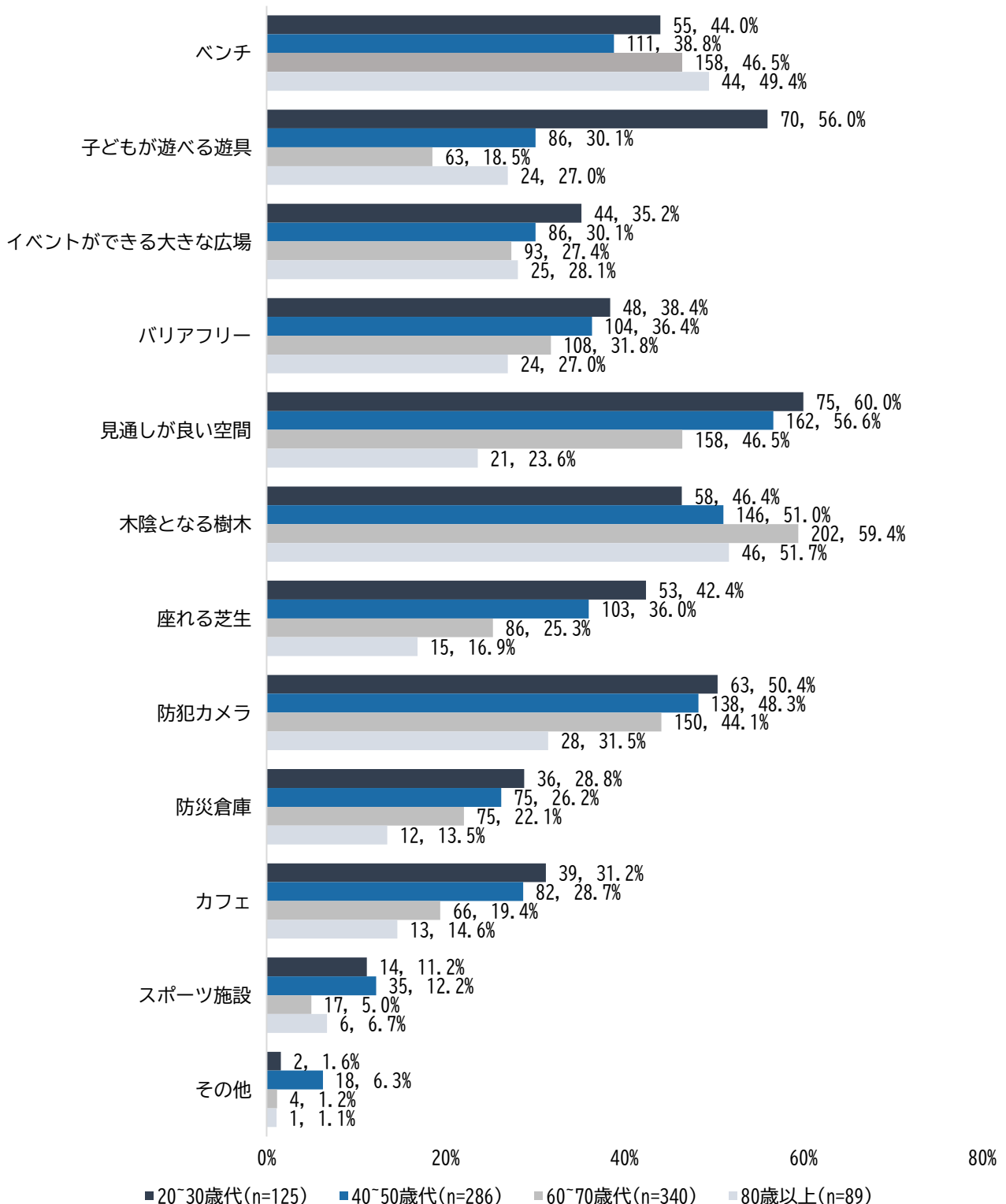
世代別 公園・広場はどのような場になったら良いか〈複数回答可〉



#### ④ 公園・広場に必要施設（複数回答）

- ・20～30歳代では、他世代と比べて「子どもが遊べる遊具」の割合が多くなっています。
- ・60～70歳代、80歳以上では、「ベンチ」、「木陰となる樹木」の割合が多くなっています。

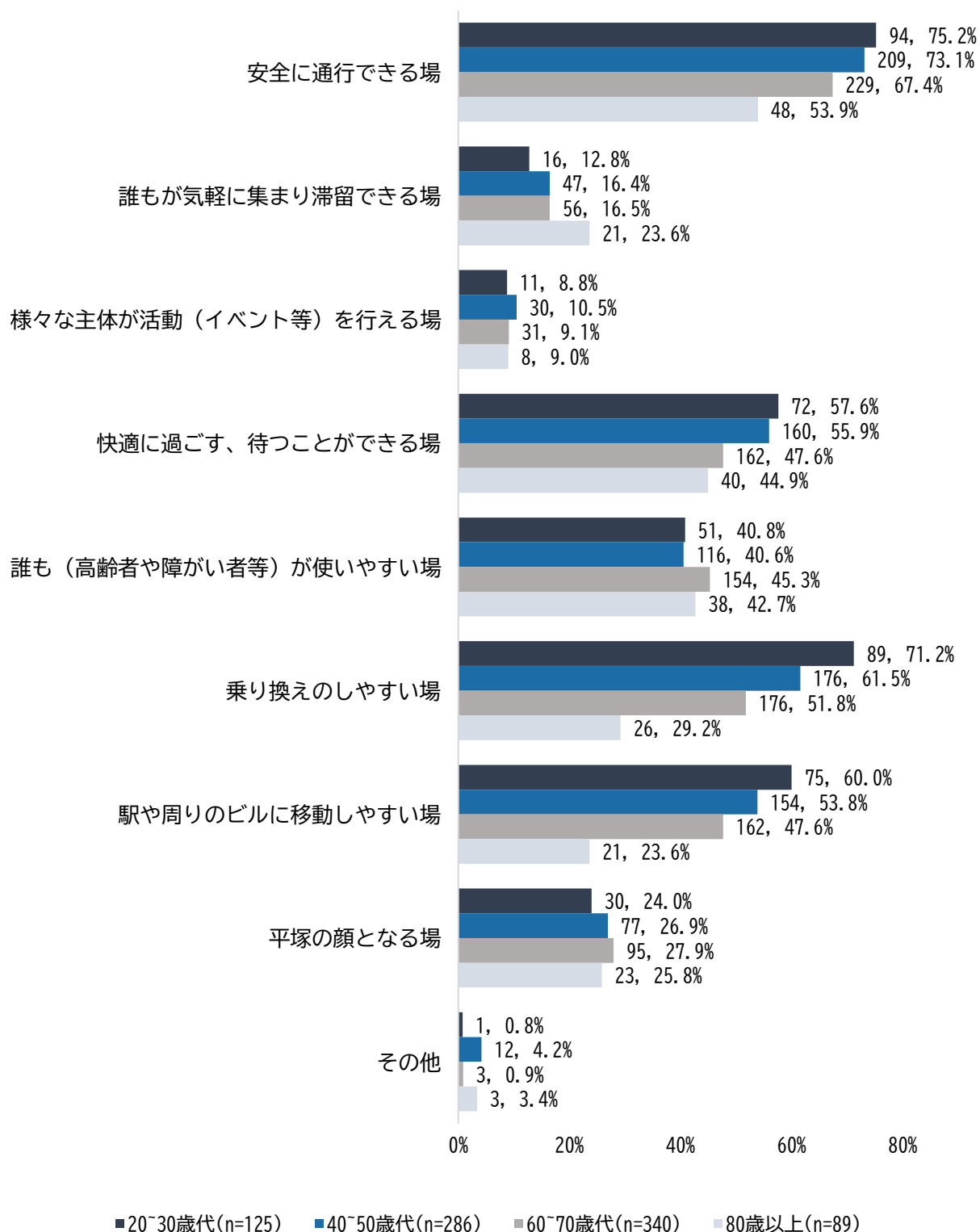
世代別 公園・広場に必要施設〈複数回答可〉



⑤ 駅前広場はどのような場になったら良いか（複数回答）

・「誰も（高齢者や障がい者等）が使いやすい場」は、全ての世代で同程度の割合となりました。  
20～30歳代では、他世代と比べて「乗り換えのしやすい場」の割合が多くなっています。

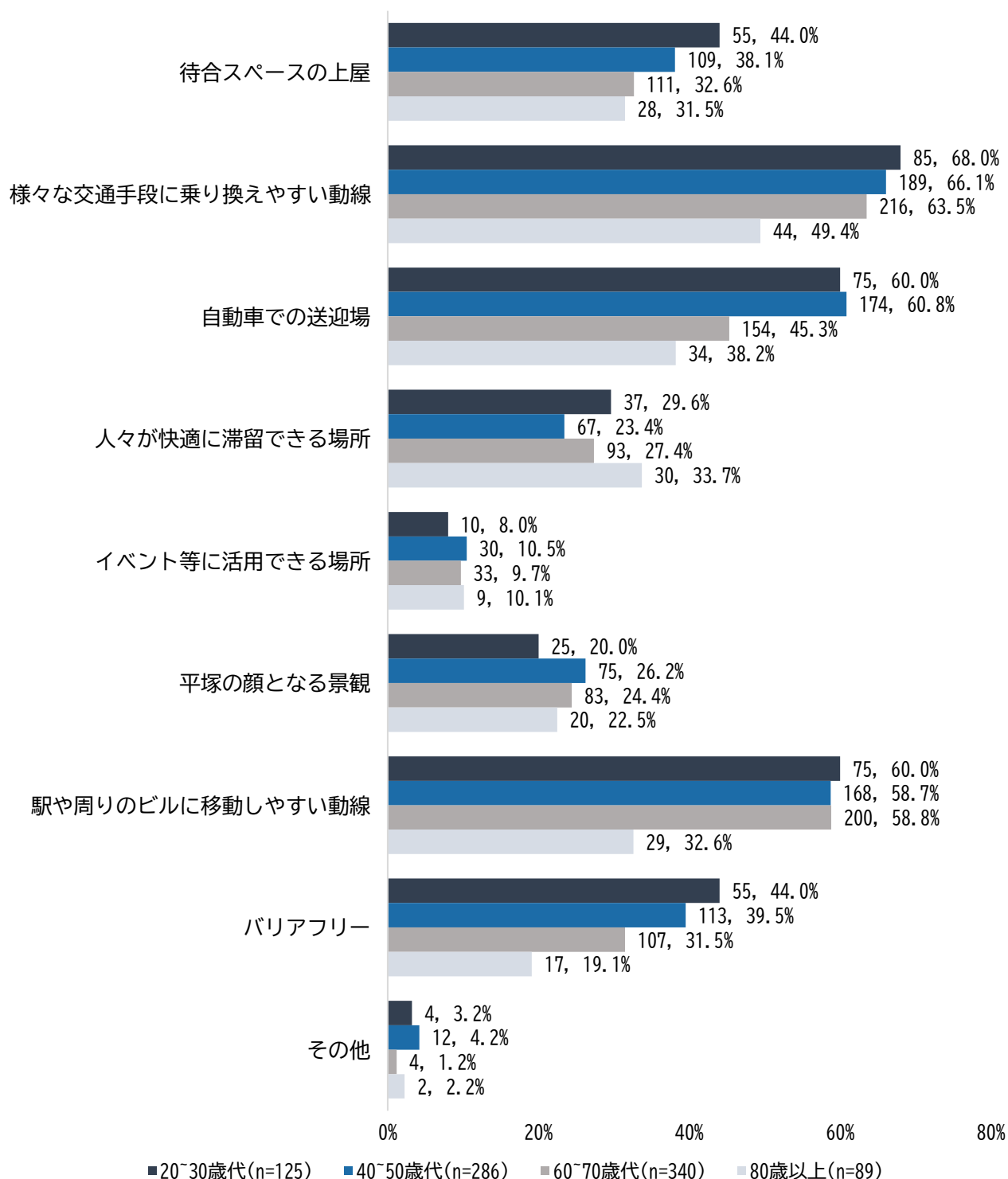
世代別 駅前広場はどのような場になったら良いか〈複数回答可〉



## ⑥ 駅前広場に必要施設（複数回答）

- ・20～30歳代、40～50歳代、60～70歳代では、「様々な交通手段に乗り換えやすい動線」、「駅の周りのビルに移動しやすい動線」の割合が多くなっています
- 20～30歳代では、他世代と比べて「待合スペースの上屋」の割合が多くなっています。

世代別 駅前広場に必要施設〈複数回答可〉



## 問 10. コミュニティビジネスについて

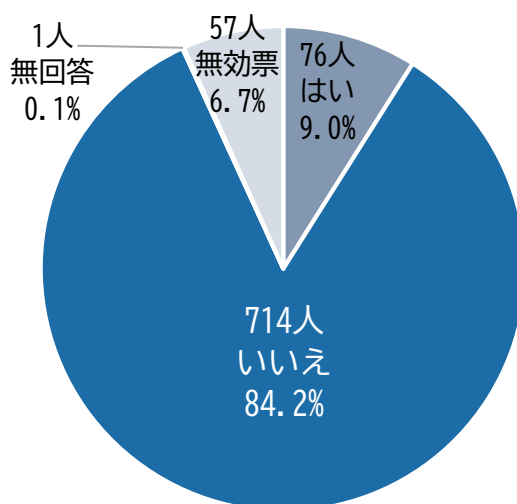
コミュニティビジネスは、地域課題の解決を「ビジネス」の手法で取り組むものであり、地域の人材やノウハウ、施設、資金を活用することにより、地域における新たな創業や雇用の創出、働きがい、生きがいを生み出し、地域コミュニティの活性化に寄与するものと期待されています。

例えば、身近な人を集めたカフェや自分でつくったハンドメイド作品の販売、技術や専門知識を生かしたサービス（〇〇教室など）が考えられます。

### ① コミュニティビジネスを自身が行いたいのか

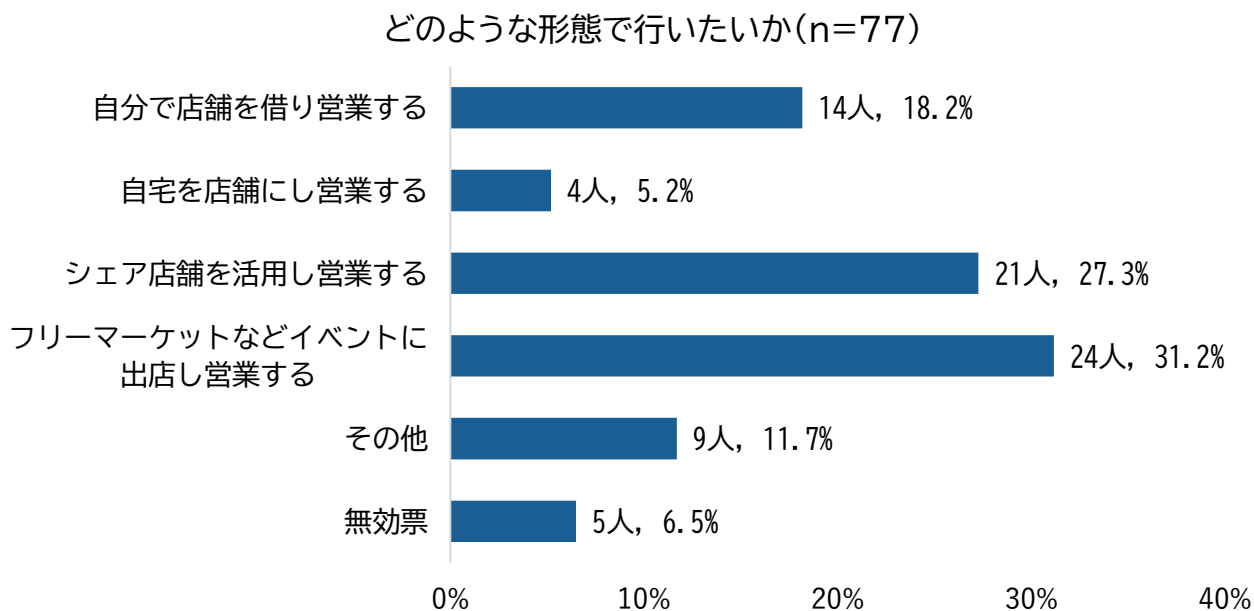
・「はい」(9.0%)、「いいえ」(84.2%)となっています。

コミュニティビジネスを自身が行いたいのか(n=848)



## ② どのような形態で行いたいのか

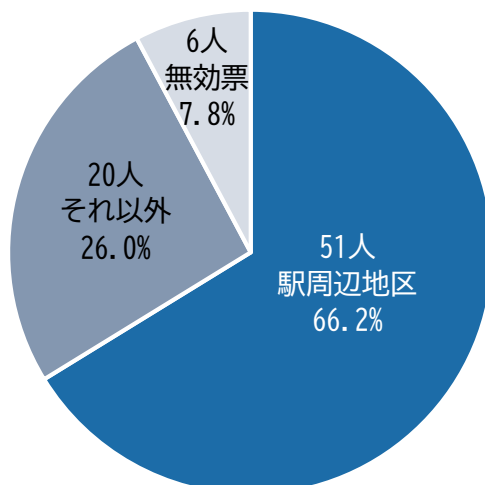
・「フリーマーケットなどイベント等に出店し営業する」(31.2%)が最も多くなりました。



## ③ どのような場所で営業したいのか

・「駅周辺地区」(66.2%)が最も多くなりました。

どのような場所で営業したいのか(n=77)





## 問 11. 自由意見

駅周辺地区により人々の多様な活動が増え、賑わい、暮らしやすくなるために、アイデア・ご意見等ありましたらお答えください。

主な意見は以下のようになりました。

### ① まちの賑わいづくり（自由回答）

- ・コンセプト、平塚らしさを示したほうが良い
- ・駅前広場、ペDESTリアンデッキの整備が必要
- ・駅前広場の地下通路の活用を検討が必要
- ・街並みの統一が必要
- ・みどりの創出が必要
- ・安全な歩行空間の創出が必要
- ・多機能化、建物の更新が必要（保育施設、教育施設、図書館、ライブハウス、美術館、カフェ、多目的スペース）
- ・サブカルチャーを取り込むべき
- ・店舗等の連続性による賑わいの創出が必要（キッチンカー等を含む）
- ・再開発の推進が必要
- ・マンションと商業施設のバランスのとれたまちとすべき
- ・南口と海のつながりを感じさせるべき
- ・治安の向上が必要
- ・大型商業施設が必要
- ・公共施設の集積が必要
- ・定期的なイベントが必要

## ② 商業の活性化（自由回答）

- ・ファミリー向けのイベントの開催が必要
- ・老舗と新しい店の連携が必要
- ・スマートシティ、デジタル化、キャッシュレス化が必要
- ・再開発の推進が必要
- ・アンテナショップや職業体験の場が必要
- ・立ち寄りやすさ、回遊性の向上が必要
- ・機能更新、多機能化が必要（カフェ、家電量販店、銀行）
- ・情報発信が必要
- ・大型商業施設が必要
- ・ららぽーとと連携すべき
- ・西口の機能の充実が必要
- ・子どもを預かってくれる施設が必要
- ・雨に濡れないよう、アーケードが必要
- ・スーパーマーケットが必要
- ・店舗と連携した駐車場が必要
- ・駅ビルの充実が必要

## ③ 住みやすさ（自由回答）

- ・治安の向上、防犯カメラの設置が必要
- ・公園の整備、みどりの創出等による休憩場所が必要
- ・日常の買い物の利便性が高いと良い
- ・病院が多いと良い
- ・アーケードが必要
- ・バリアフリー化が必要
- ・公共施設（学校、図書館、スポーツ施設）が必要
- ・交通の利便性向上が必要
- ・防災対策が必要
- ・歩行者と自転車の分離が必要
- ・駐輪場が必要

#### ④ 働きやすさ（自由回答）

- ・シニアの働く場、活動の場が必要
- ・保育園、学童、金銭面での子育て支援が必要
- ・オフィスビルやサテライトオフィスが必要
- ・駅までの交通の利便性向上が必要
- ・仕事ができるカフェが必要

#### ⑤ 子育て環境づくり（自由回答）

- ・公園、広場が必要
- ・広い駐車スペースが必要
- ・ファミリータイプのマンションが必要
- ・子どもの遊び場が必要
- ・子どもを預かってくれる施設が必要
- ・徒歩圏に食事、あそび、買い物など複数の目的があると良い
- ・安全性の向上、街灯の整備が必要
- ・子育て施設（保育所、こども園、子育て支援センター、学童）が必要
- ・公共施設（図書館、公民館、博物館）が必要
- ・子どもトイレ、授乳スペースが必要
- ・高齢者と関われる場が必要
- ・病院（小児科、産科）が必要

#### ⑥ 若者の活動の場づくり（自由回答）

- ・フリーな活動スペースが必要
- ・情報発信が必要
- ・参加できるイベントをつくる必要がある
- ・企業誘致が必要
- ・企業とつながれる場が必要
- ・図書館が必要
- ・スポーツ施設が必要
- ・大学（付属中高）、専門学校の誘致が必要
- ・ライブができるスペースやスタジオが必要

⑦ 高齢者の活動の場づくり（自由回答）

- ・ウォーキングできる空間が必要
- ・スポーツできる場が必要（パークゴルフ、グランドゴルフ、囲碁ボール）
- ・バリアフリー化が必要
- ・ボランティアなどの活動の場が必要
- ・情報発信が必要
- ・治安の向上が必要
- ・公共交通の利便性向上が必要
- ・サロンなど集まれる場が必要
- ・公園の木陰やベンチなど休憩する場が必要
- ・高齢者と若者が一緒に活動できる場が必要
- ・清潔で使いやすいトイレが必要

⑧ 交通の利便性（自由回答）

- ・駅前広場のデッキ化が必要
- ・コミュニティバスが必要
- ・自転車、バイクの駐輪場が必要
- ・駐車場が必要
- ・自動車の送迎場所が必要
- ・タクシーの回数券の配布や料金を下げることが必要
- ・自由な場所で乗降ができるバスが必要
- ・モノレール、ラピットバスが必要
- ・バスの料金の定額制や料金を下げることが必要
- ・西口にもロータリーが必要
- ・バリアフリー化が必要
- ・自転車、歩行者優先の空間づくりが必要

### ⑨ 歩いて楽しいまち（自由回答）

- ・アーケードが必要
- ・駅前広場のデッキ化が必要
- ・おしゃれな雰囲気のお店が必要
- ・緑の創出と景観整備が必要
- ・情報発信が必要
- ・カフェやキッチンカーが集まる場が必要
- ・特徴のあるお店が必要
- ・入しやすい雰囲気のお店が必要
- ・食べ歩きできるお店が必要
- ・ベンチや木陰など休憩できる場所が必要
- ・バリアフリー化が必要
- ・アプリ、ゲームの活用が必要
- ・多様な機能の集積が必要
- ・通りごとの特色の創出が必要
- ・既存イベントや季節を感じるイベントが必要
- ・図書館、映画館、本屋が必要
- ・店舗と提携した駐車場が必要

### ⑩ 安心安全（自由回答）

- ・交番の増設とパトロールが必要
- ・雨水の浸水対策が必要
- ・防犯カメラの設置が必要
- ・街灯の増設が必要
- ・まちの清潔感の向上が必要
- ・風俗店や客引きのないまちにしたほうがよい
- ・バリアフリー化が必要
- ・医療施設の充実が必要
- ・速度や駐車などの交通規制を強化する必要がある。
- ・ゆとりある道路が必要
- ・歩行者と自転車の分離が必要

⑪ 公共施設（自由回答）

- ・スタジアム
- ・フリースペース
- ・運転免許、パスポート等の窓口センター
- ・総合病院
- ・民間施設と公共施設の融合
- ・交番
- ・公園
- ・南口に文化交流施設
- ・避難施設、備蓄倉庫
- ・屋外コンサートホール
- ・美術館や図書館のサテライト機能
- ・プラネタリウム

⑫ その他（自由回答）

- ・バルマーレやビーチパークなど既存の団体や施設と連携したまちづくりが必要
- ・スタジアムの整備が必要
- ・駅前ロータリーと周辺の再開発が必要
- ・図書館、博物館、児童館などの公共施設が必要
- ・大型商業施設が必要
- ・学生が集まれる場が必要
- ・働く場が必要
- ・駐車場、駐輪場の充実が必要
- ・南口の活性化が必要
- ・七夕まつりの見直しが必要

## 第3章 結果の考察

今回の調査は、平塚駅周辺地区の将来構想を検討するにあたり、市民の日常生活の実態や意向を反映させる必要があることから行いました。結果、次のことがわかりました。

### 1. 駅周辺地区を利用する日常の外出状況（問2、問3）

平塚駅周辺地区の商圈は中心地域、南部地域が中心ですが、衣料品と外食については、東部地域、旭地域まで商圈が広がっていることがわかります(p.13,14)。

買い物先を選ぶ理由として、「自宅に近いから」が最も多く、商品を選ぶ理由としては「お店に陳列された商品から」が1番多くなっていること(p.16)から、駅周辺地域に近い方から選ばれていることがわかります。

また、中心地域、南部地域の方の買い物先として食料品、化粧品、書籍・CD、金融機関については、駅周辺地区を利用している方が約3割と多いことがわかりますが、その他については必ずしも駅周辺地域を利用していないことがわかります(p.15)。

### 2. 駅や駅周辺地区を利用する際の交通手段と利用状況（問4、問5）

平塚駅の利用は、「年に数回程度」が約4割と多く、利用する際の交通手段は「路線バス」が約3割と多くなっていることがわかります(p.17)。

平塚駅周辺地区の利用は、「年に数回程度」が最も多く、また、利用する際の交通手段は、「自家用車」が最も多く、次いで「路線バス」が多くなっています(p.20)。

立ち寄る店舗数は2か所以上が過半数となり、滞在時間は1時間以上が過半数となっています(p.23)。また、目的無くふらっと訪れる方が約2割いることがわかります(p.24)。

今後の駅周辺地区への出店要望としては、百貨店・デパートが最も多くなっています(p.24)。

### 3. 駅周辺地区の評価・イメージ（問6）

どの世代においても、「バスが便利である」、「お店の人が親切である」、「住みやすいまちである」について、良い印象（思う、思わない）の割合が良くない印象（やや思わない、思わない）より多くなっています(p.29~31)。また、重視する項目としては、「治安が良い」が最も高くなっています(p.26)。

「駅周辺地区へ移り住みたい、住み続けたい」と回答した方は約3割であり、条件として「日常の買物が便利であること」が最も多く、次いで「治安が良いこと」が多くなりました(p.27)。

### 4. 駅周辺地区のまちづくり活動やコミュニティビジネスについて（問7、問10）

駅周辺地区で行っているまちづくり活動について、約2割の方が「活動を知っている」と回答

し、知った媒体としては「今回のアンケート」が最も多くなっています(p.32)。また、過半数の方が「今後も活動を継続していくべき」と回答しました(p.34)。

コミュニティビジネスを自身が行いたいかについては、1割弱の方が「行いたい」と回答し、そのうちの約7割の方が「駅周辺地区で行いたい」と回答しました(p.50,51)。

## 5. 駅周辺地区の将来について（問8、問9）

どの世代でも「買い物をしやすい場」、「ゆっくりと時間を過ごせる場」が多くなっています。20～30歳代では、「子ども連れが楽しめる場」、「おしゃれな雰囲気がある場」の割合が多くなっています(p.38)。

道路では、「安全に通行できる場」がどの世代でも多くなっています。20～30歳代では、「快適に過ごすことができる場」、「自動車の通行がしやすい場」の割合が多くなっています(p.44)。

公園・広場では、「安全に過ごすことができる場」がどの世代でも多くなっています。20～30歳代では、「子どもが遊びやすい場」の割合が多くなっています(p.46)。

駅前広場（ロータリー）では、「安全に通行できる場」がどの世代でも多くなっています。20～30歳代では、「乗り換えのしやすい場」、「駅や周りのビルに移動しやすい場」の割合が多くなっています(p.48)。